

'96 SUGO SUPER BIKE 2HEAT RACE

'96 All Japan Road Race Championship
'96全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦

SUGOスーパーバイク2ヒートレース

■開催クラス

SUPERBIKE/GP125/GP250



7/6 予選 SAT
7 決勝 SUN

■会場 スポーツランドSUGO国際レーシングコース ■主催 SUGOスポーツクラブ(SSC) ■公認 (財)日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ)



OFFICIAL PROGRAM

ARAI



●機種名:RX-7RR3 ●帽体:ScLe(スーパー・コンプレックス・システム・コンストラクション) ●規格:スネル、JIS C種 ●内装:フルシステム内装(頬パッド調節可能-特許出願中) ●シールド:スーパーアドバンスドポスト付標準装備(特許出願中) ●色:白、黒、グレイメタリック、イタリヤンレッド ●サイズ:(53-54)(55-56)(57-58)(59-60)(61-62)

¥49,000



ティア・オフ・シールド 5枚1組 ¥900



Racing Specialties
 ※価格に消費税は含まれていません。
 ●アライ製品については、品質管理課までお問い合わせください。
 直通 TEL (048) 645-3661
 株式会社 アライヘルメット
 〒330 埼玉県大宮市東町2-12
 TEL(048)641-3825~7



贅沢を究めると、新しい形状が視えてくる。

<RX-7RR3>は隅々まで計算され尽くしたアライの先進テクノロジー・ヘルメットだ。安全性、機能性、快適性、軽量化、どの一点にも妥協を許さないアライの設計思想が、バイクファンを魅了する贅沢なヘルメットとして結実した。静粛性を重要視したエアイン&エアアウト。強く軽いスーパーcLc。安定性の追求により耐摩性を増した帽体形状。どこを取り上げてでも新しい。いくつものプロトタイプをさらに進化させ、この究極のフォルムに練り上げたのだ。<RX-7RR3>。手に取ってみれば、その真価がすぐに理解できるはずだ。



走行時の負圧で帽体内部の熱気を吸い出すディフューザーが、コンディションに応じた流量調節機能を新たに搭載

帽体内部から後方へのより効果的な排気と、より強靱な形状を突き詰めてボリュームアップしたサイドアウトレット

着脱がさらに容易になったフルシステム内装 <RX-7RR3>では、より深く安定したかぶり心地が得られる

新型のヘルメットは、まず金型をつくって試作し、走って試す。そして、また作り直す。納得いくまで、何度でも作り直して煮詰めていく。金型まで社内で作る、アライならではの贅沢です。ディフューザー効果と高速安定性のさらなる向上を求めて、機能に徹した<RX-7RR3>のフォルムも、帽体金型から作り直した贅沢な逸品なのです。



IEダクト2



スーパーアドンス&ポスト付きシールド



マウスシャッター



エアロラップ



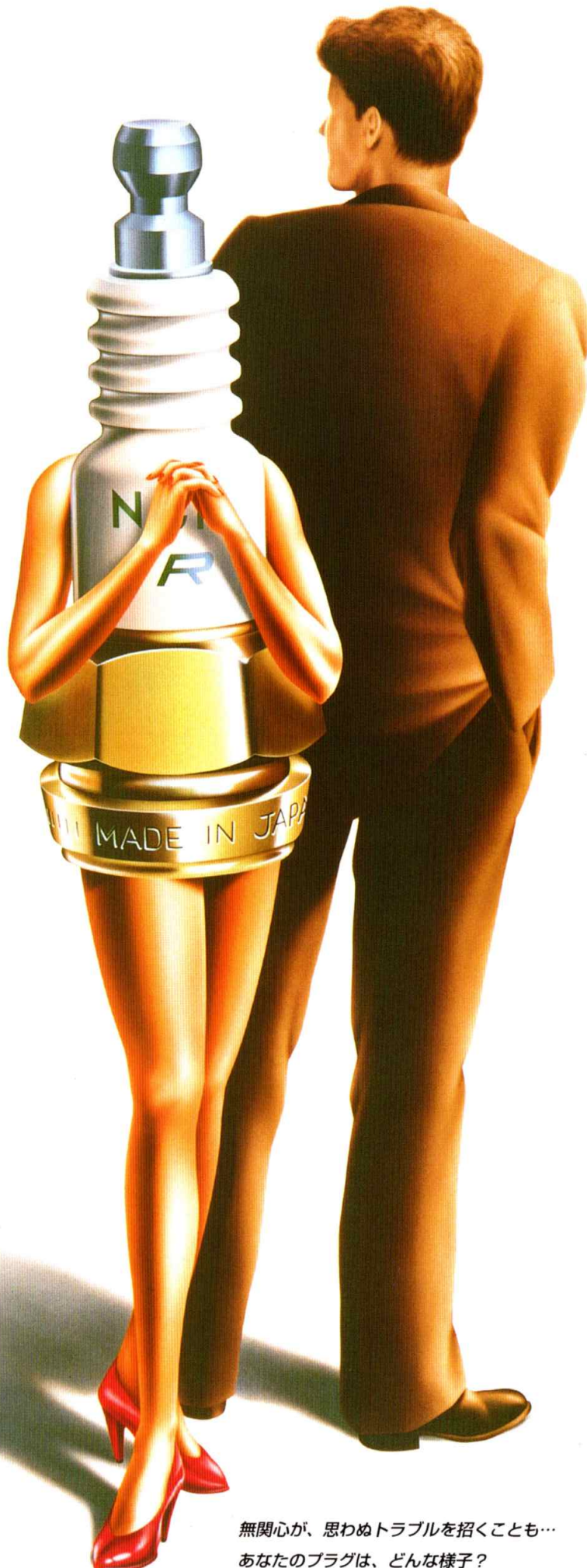
デミストロック



着脱式ノズルディフレクター



もっと、
気にして
ほしい。



無関心が、思わぬトラブルを招くことも…
あなたのプラグは、どんな様子？
愛するクルマのために、整備の際には点検を忘れずに。



日本特殊陶業

DUNLOP
DRIVING TO THE FUTURE



オレは、ダンロップ。

GRANDPRIX RIDER
KAZUTO SAKATA

なんたって究極は、グリップだ。
レーシングライダーにとって、
実戦ではマシンよりタイヤがキメ手になる。
とくにグリップが足りないタイヤはまったくダメだね。
コントロール性は、グリップの次に語られるもの。
横にスライドしても前へ前へと進んでいく。
そして、コーナーをしっかりと立ち上がっていく。
ライダーにヤル気を起こさせるタイヤでなければならない。
いわば勝利のエモーションの原動力。
それがグリップだと思う。だから、オレはダンロップ!

Rideen
GPR-50 Sp

T900GP



ダンロップは
安全めざしタイヤ!

勝利の道は

カストロールから



A747

YAMAHA TZ125/250 YZシリーズ
HONDA RS125/250R TLM260
KAWASAKI KXシリーズ
MORIWAKI MH80
メーカー指定エンジンオイル

2サイクルレース専用混合専用オイル
SAE:50 化学合成油・植物油の混合油
1Q/¥4,000



R30

YAMAHA TZ125/250 ミッションオイル
YAMAHA YZシリーズ エンジンオイル
メーカー指定オイル

2サイクルレース専用エンジンオイル/
ミッションオイル
SAE:30 植物油
1Q/¥3,000



B353

レーシングエンジンを支えてきたオイル
2サイクルのミッションオイルとしても好評
4サイクルレース専用オイル/2サイクル
レース専用ミッションオイル
SAE:40化学合成油・植物油の合成油
5Q/¥13,000

◆植物油を使用しているため、1回使用する
毎にオイル交換して下さい。また、他のオ
イルと混ぜて使用しないで下さい。



TTS

YAMAHA TYZ
メーカー指定エンジンオイル

2サイクルレース用高性能ストリート用
エンジンオイル
JASO規格FC
100%化学合成油
0.5Q/¥1,500



Neues Formular RS

数多くのレースで培われた
信頼の高性能マシン用オイル

4サイクルエンジンオイル/2サイクル
ミッションオイル
API:SH
SAE:10W-50 100%化学合成油
1Q/¥2,800 4Q/¥7,500



レーシングブレーキ液

カストロールサポートチームが
使用している定番

レーシング専用ブレーキフルード
ドライ沸点290°C、ウェット沸点150°C
1Q/¥3,200



ガーリング ユニバーサル ブレーキ クラッチ液

KAWASAKI KXシリーズ
メーカー指定・推奨オイル

ディスクブレーキ/ドラムブレーキ用
ドライ沸点265°C、ウェット沸点165°C
DOT3/4タイプ
1Q/¥3,800



Castrol

カストロール株式会社

〒102 東京都千代田区麴町3-1泉屋ビル
TEL.03-3265-6101(代表)

Speed 4 You!

XJR400R ¥599,000

■Model type:4HM ■Engine type:Air Cooled DOHC 4valve inline 4 ■Displacement:399cc
■Max.Power:53ps/1,100rpm ■Max.Torque:3.6kgf·m/9,500rpm ■Transmission:6 speed return
■Dry weight:178kg ■Body coloring:New silver dust,Bluish black(Blue),Bluish white cocktail1(White)

XJR400 ¥579,000 ■Body coloring:Deep red cocktail2,Black2

●価格はメーカー希望小売価格(北海道・沖縄および一部地域を除く) ●価格には参考価格です。 ●価格には保険料、税金(含む消費税)・登録に伴う費用等は含まれていません。 ●消費税は別途計算のうえ申し受けます。 ●詳しくは、販売店にお問い合わせください。

見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライトオン!
- カーブ・交差点では、スローイングダウン!

バイクでひろがるいい仲間

バイクはいつも光ってる

SUPERBIKE JAPAN
全日本ロードレース選手権
招待券プレゼント実施中
96年1月-12月にモーターサイクル
スクーターをお買上げの方全員に

●ヤマハモーターサイクルに関するお問い合わせは、下記のお客さま相談室へ。
お客様相談室 ☎0120-090-819

●カタログご希望の方は、機種名・雑誌名と住所・氏名・年齢・職業を明記し、
郵便料として郵便切手190円分を同封の上、下記へお申し込みください。
〒438静岡県豊田市新井2500ヤマハ発動機株式会社広報室宣伝グループカタログ係

New Special Armed Naked
**XJR
 400JR**



●メーカーオプションで速度警告灯装着仕様車(¥10,000円高)もあります。

Y.E.S.S. ヤマハ新車ご購入と同時にご入会すると
初年度年会費すべて無料!
 ●Y.E.S.S.年会費3,000円(格別) ●初年度年会費900円(格別) ●新車ご購入以外のご入会者も初年度カード年会費無料! 入会のお問い合わせ、お申し込みはY.E.S.S.のスタッフの方
 あるいはY.E.S.S.加盟店、またはY.E.S.S. HOT LINE ☎0120-319-819へどうぞ



ヤマハは、いま、大人の週末バイクライフを応援しています。
週末はバイク
 キャンペーン実施中

YAMAHA
 ヤマハ発動機株式会社

'96 SUGO ROADRACE

'96全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦 TIME SCHEDULE

7月6日(土)公式予選		■ゲートオープンAM7:00～ ●一般入場AM9:00～														
		7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00				
公式車検	7:00ゲートオープン	全クラス														
	公式予選			GP 125 B (1) 20	GP 125 A (1) 50	GP 250 B (1) 20	GP 250 A (1) 50	SUPER BIKE B (1) 20	SUPER BIKE A (1) 50			GP 125 B (2) 20	GP 125 A (2) 50	GP 250 B (2) 20	GP 250 A (2) 50	SUPER BIKE B (2) 20

7月7日(日)決勝レース		■ゲートオープンAM7:00～ ●一般入場AM7:00～														
		7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00				
ウォームアップ走行	7:00ゲートオープン			GP 125 (45)	GP 250 (10)	SUPER BIKE (25)										
スタート前チェック					55	10		05	20			10	25		25	40
スタート進行						25			35				40			55
決勝レース							GP 125 (18L)			15				20		35
表彰								10					25		30	45
																レーシングコース体験走行

- SUPPONSORS**
- 株式会社アライヘルメット
 - カストロール株式会社
 - 株式会社カロッツェリアジャパン
 - 昭和貿易株式会社
 - 住友ゴム工業株式会社
 - 株式会社永谷園
 - 日本特殊陶業株式会社
 - ブラウン・アンド・ウィリアムソン・タバコ・コーポレーション
 - 株式会社ブリヂストン
 - 本田技研工業株式会社
 - ヤマハ発動機株式会社

CONTENTS

- タイムスケジュール・協賛各社・目次…………… 6
- 大会会長挨拶・大会役員・審査委員・競技役員…… 7
- INT スーパーバイク…………… 8
- INT GP250……………10
- INT GP125……………12
- 各クラス エントリーリスト ……………14
- ロードレースをたのしもう (スーパーバイク編) … 20
- 観戦ガイド・SUGOレースカレンダー …………… 24

<http://www.sphere.ad.jp/zundanet/sugo/>

■モータースポーツファン必見！
SUGOの全レースがインターネットに登場
モーターファンには見逃せない情報です。今年からSUGOの全レースがインターネットでアクセスできます。

ご来場の皆様へ

ロードレース競技には危険が伴います。本大会の競技・運営において、事故のため観客が損害・死傷を受けた場合、本大会の主催者、運営役員、競技参加者は、これに対する補償責任は一切ありません。この点をご了承の上でご入場いただき、決められた場所で観戦くださるようお願い申し上げます。

'96 SUGO ROADRACE

'96全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦 GREETING OFFICIAL



スポーツランドSUGO 代表取締役社長
松本 忠

本日は、スポーツランドSUGOにご来場いただきまして、ありがとうございます。緑美しいスポーツランドSUGOを会場に、'96全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦をたくさんのファンをお迎えして、盛大に開催できますことを心より感謝申し上げます。

ロードレースは、数多いモーターサイクルスポーツの中で最もスピード感あふれ、そのエキサイティングな走りは、モータースポーツファンを始めとし、観る者に大きな感動と興奮を巻き起こしてくれます。また国内、外を問わず日本人選手をめざましい活躍ぶりは、モーターファンを魅了しつづけております。

本日もさまざまなドラマが生まれ、十分に私たちを楽しませてくれるものと確信しております。皆様もこれから始まる熱い戦いを十分に堪能していただきたいと思っております。

本日もご来場の皆様には、全日本選手権を戦い続け、本日もここに参加した選手に熱い声援をよろしくお願い致します。また、参加選手の皆様は、ファンの皆様のご期待に応え、もてる力を遺憾なく発揮されることを希望いたしております。

最後に本大会開催にあたり、スポーツランドSUGO、競技役員、ご協賛各社の皆様のご尽力に対し、深く感謝の意を表し開催のご挨拶とさせていただきます。

大会役員

大会 会長 松本 忠
大会 副会長 渡辺 通弘

大会組織委員長 太田 初美
大会組織委員 芳野 憲雄

審査委員会

大会審査委員長 神谷 忠
大会審査委員 野口 種晴
太田 初美

競技役員

大会競技監督 板橋 康行
副 佐藤守之助
副 若林 太市

管 制 長 伊藤 力雄
副 三浦 正樹
計 時 長 佐藤 和則
副 渡辺 理一
進行・ピット・バドック長 佐竹 良美
副 山田 裕一
車 検 長 菅野 光一
副 永井 謙
救 護 長 大槻 克仁
副 伊藤 正信
コ ー ス 長 後藤 秀典

大会事務局長 新田 尚宏
事務局次長 高橋 吉男
事務局 伊藤 一
渡辺 俊義
佐藤 究
佐藤 仁徳
是川由美子
荒 智美
平尾 清美
大会アナウンサー みし奈昌俊
佐々木恵一
渡辺 祥子

マーキング・バドック・クワーター・レースクイーン
大平 良夫
大平 良彦
高館 由香
青砥 妥子
阿部 美貴

競技委員

計時委員	本木 竜一 沢田 雅俊	後藤 裕樹 土居 武史 山田 大介 村上 幸枝 玉槻 賢 横田 潔 原田 和也 中川 由香 原田 忠彦 大槻 信行 佐々木ひろみ 北村 政彦 小野恵美子 岩沢 裕樹 吉川 裕子 芳賀 一之 加倉田 純 西田 徹 東海 幸康 原 大周 中田 大輔 原 純一 浦部 晶彦 醍醐 隆行 佐々木美津也 米山 正樹 中川 静香	加島 哲浩 久保 善幸 大崎 秀 谷津 吉広 大内 淳介 田中 浩 高野 芳明 和田健太郎 川口 順央 小川 徹 奥平 英人 大友 愛美 佐々木幸夫 川南 隆道 相澤 典子 千田 雅俊 高橋るり子 諏訪部久良	澤目 京子 佐藤 啓子 後藤 真理 早川百合子 大瀧 悦子 下浦 恵子 柏倉久仁子 手塚 美恵 吉田久美子
コース委員	青木 洋之 田口 和秋 丸山 智明 山田 祥子 下枝 健一 宮田 智弥 片山 吉宏 川口 文明 吉田 淳宏 菊地アカネ 高橋 聡 高橋 美穂 菅原 茂 大堀 幸二 高橋 政彦 大槻 純一 小林 陽一 武田 真弓 及川 洋 高橋 仁 猪股 利恵 島田 幸照 成田 優樹	後藤 裕樹 土居 武史 山田 大介 村上 幸枝 玉槻 賢 横田 潔 原田 和也 中川 由香 原田 忠彦 大槻 信行 佐々木ひろみ 北村 政彦 小野恵美子 岩沢 裕樹 吉川 裕子 芳賀 一之 加倉田 純 西田 徹 東海 幸康 原 大周 中田 大輔 原 純一 浦部 晶彦 醍醐 隆行 佐々木美津也 米山 正樹 中川 静香	加島 哲浩 久保 善幸 大崎 秀 谷津 吉広 大内 淳介 田中 浩 高野 芳明 和田健太郎 川口 順央 小川 徹 奥平 英人 大友 愛美 佐々木幸夫 川南 隆道 相澤 典子 千田 雅俊 高橋るり子 諏訪部久良	澤目 京子 佐藤 啓子 後藤 真理 早川百合子 大瀧 悦子 下浦 恵子 柏倉久仁子 手塚 美恵 吉田久美子
救護委員	遠藤 善久 高橋 弘紀 石田 俊晴 菅野 一哉 宮内雄太郎 安達 利英 大友伸太郎 小泉 富保	後藤 裕樹 土居 武史 山田 大介 村上 幸枝 玉槻 賢 横田 潔 原田 和也 中川 由香 原田 忠彦 大槻 信行 佐々木ひろみ 北村 政彦 小野恵美子 岩沢 裕樹 吉川 裕子 芳賀 一之 加倉田 純 西田 徹 東海 幸康 原 大周 中田 大輔 原 純一 浦部 晶彦 醍醐 隆行 佐々木美津也 米山 正樹 中川 静香	加島 哲浩 久保 善幸 大崎 秀 谷津 吉広 大内 淳介 田中 浩 高野 芳明 和田健太郎 川口 順央 小川 徹 奥平 英人 大友 愛美 佐々木幸夫 川南 隆道 相澤 典子 千田 雅俊 高橋るり子 諏訪部久良	澤目 京子 佐藤 啓子 後藤 真理 早川百合子 大瀧 悦子 下浦 恵子 柏倉久仁子 手塚 美恵 吉田久美子
			車検委員	
			戸村 次男 工藤 浩 佐藤 新一 大場 善隆 太田 朋孝 丹 俊雄 菅野 登 中村 浩子 鈴木麻衣子 斎藤 栄一 千葉 真紀 ジョン・ハリー ニック・ハマド マズラン	
			進行・ピット・バドック委員	
			吉田 章 亀山 大輔 佐藤 洋哉 宮崎 朝志 佐々木祐一 鎌田美喜子	



SR INT SUPERBIKE



完全に抜け出ている青木拓磨 これを追うヤマハ、スズキ、カワサキ勢

ここまでの5レース中、4つのレースで勝利を挙げている青木拓磨。チャンピオン青木拓磨は今年のこのクラスで、完全に頭ひとつ抜け出ている感が強い。本人はRVFの仕上がりの高さを最大の勝因としている。実際にライバルマシンに対し、ストレートスピード、旋回性など、かなりのアドバンテージがあるようだ。それは、今年全日本初の参戦となる青木のチームメイトである武田雄一が安定して上位入賞を果たし、さらには第4戦鈴鹿200kmでは2位表彰台を獲得するという活躍を見ても、マシンの仕上がりが相当高いことはうかがい知ることができる。

しかしライバルも黙ってこの状況を見ているわけではない。その可能性を最も感じさせたのが、第5戦での梁明の戦いぶりだ。青木のレース展開はいつも、序盤からハイペースで周回し、後続を引き離して独走という形だった。結果的にこのレースもそういう展開になったのだが、序盤、梁が青木に激しく迫り、時に前に出て、激しいトップ争いを見せたのだ。

このバトルは梁が5周目に転倒し、幕切れとなったが、今までにないパターンだったことは事実だ。

昨年までトッププライベートーとしてカサキのマシンに乗ってきた梁は、それまでの経験を今年はファクトリーというこれまで長く望んできた環境でフルに生かし、ニューマシンZX-7RRの速さをうまく引き出してきている。第2戦ではポールポジションを獲得。安定した成績で現在、ランキング2位に付けている点を見ても、それは理解できるだろう。今回も梁の戦いぶりはぜひ注目したいところだ。

気になるのは第3、4戦とポールポジションを取った北川圭一、第1戦、第5戦で2位表彰台を獲得した藤原克昭のスズキ勢だ。今年、プランニューとなったGSX-R750を仕上げながらの実戦参加はマイナートラブルとの戦いとも言え、一発の速さはあるのだが、なかなか結果に結び付けることができずにいた。しかし第5戦の戦い方からも、仕上がりのペースはかなり早い。そろそろ安定してトップ争

いに加わってきそうだ。

そしてヤマハ勢も、第2戦で芳賀紀行が優勝し、さらに藤原儀彦が第3戦2位、第4戦4位と安定した結果を残している。昨年はマシンのセットアップに悩んでいた藤原だったが、イメージ通りにマシンも上がり、いよいよ来の速さを発揮できる状況に持ってくる事ができた。

また梁のチームメイト武石伸也も、マシンの乗り換えが完全にできないながら、第5戦では3位表彰台を獲得し、徐々に本来のさを取り戻しつつある。第4戦の予選中に負傷し、第5戦を欠場した柳川も今回のレースから復帰する予定となっている。

誰かが青木拓磨にストップをかけることができるのか。8耐まで残り半月となったこのタイミングで、誰がどんな走りを見せるか、さらにマシンの仕上がりはどうか。今回も予選から決勝まで、目の離せないレースとなりそうだ。



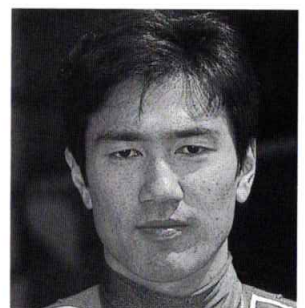
1 青木拓磨 ホンダ RVF/RC45
TEAM HRC
95チャンピオン。今シーズンはここまで5戦中4勝を記録。優勝はいつでも独走で、圧倒的な強さを見せている。今回も優勝の最右翼だ。



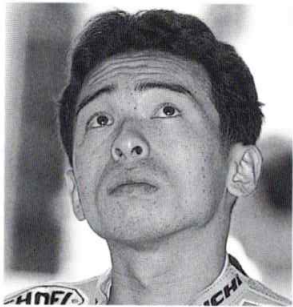
2 武石伸也 カワサキ ZX-7RR
KRT RR
今年からカワサキに移籍。マシンにも慣れてきたようで、前回の富士では久しぶりの3位に入賞。表彰台に上っている。



3 藤原克昭 スズキ GSX-R750
ラッキーストライク、スズキ
開幕戦で2位に入賞したものの、その後の3戦はマシンが思うように走らず低迷。しかし、富士では復活の2位に。今回こそ勝ちを狙う。



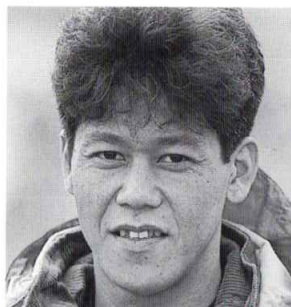
5 藤原儀彦 ヤマハ YZF750
Y.R.T.
ヤマハスーパーバイクのエースであるとともに、開発を担う。ここに来てマシンも仕上がってきたようで、本来の走りが爆発するかどうか？



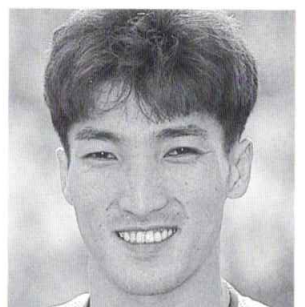
6 柳川 明 カワサキ ZX-7RR
KRT RR
第4戦ではケガを負ってしまい、決勝をキャンセル。続く富士も欠場し2戦ノーポイント。今回のSUGOで流れを変えたいところだ。



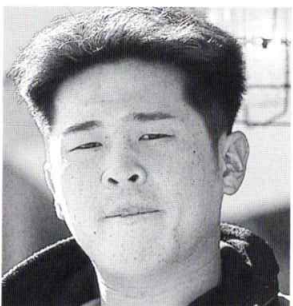
7 北川圭一 スズキ GSX-R750
ラッキーストライク、スズキ
スズキに移籍した今シーズン。ここまで予選では2度のポールポジションと気を吐いているが、決勝は5位が最高位。更に上位を狙う。



8 生見友希雄 ドゥッカティ 916コルセ
チーム・ファンデーション
昨年よりドゥッカティでスーパーバイククラスを戦い、ランキング8位。前回の富士では予選3位、決勝4位と健闘している。



9 梁 明 カワサキ ZX-7RR
KRT RR
カワサキ勢で一番元気のいい走りを見せているのが梁だ。前回のSUGOでもコースレコードを記録。今回こそ優勝したいところだ。



10 芳賀紀行 ヤマハ YZF750
テクノモーターエンジニアリング
第2戦SUGOでは、独走で初優勝を飾る。前回と同様の走りをすれば2勝目も可能だろう。アグレッシブな走りが魅力的なライダー。



45 武田雄一 ホンダ RVF/RC45
TEAM HRC
ルーキーながら、ここまで確実に完走し、結果を残している。第4戦鈴鹿では2位争いを制し、初の表彰台。実力の片鱗を見せた。



■SBポイントランキング (暫定)

順位	氏名	第1戦 鈴鹿	第2戦 SUGO	第3戦 筑波	第4戦 鈴鹿	第5戦 富士	計	第6戦 SUGO	第7戦 MINE	第8戦 鈴鹿	第9戦 筑波	第10戦 TI	第11戦 SUGO	合計
1	青木 拓磨	20	15	20	20	20	95							
2	梁 明	15	13	15	11		54							
3	藤原 儀彦	6	8	17	13	10	54							
4	武石 伸也	11	9	9	8	15	52							
5	武田 雄一	8	7	10	17	8	50							
6	藤原 克昭	17		8	5	17	47							
7	北川 圭一		10	11	10	11	42							
8	芳賀 紀行	13	20			9	42							
9	柳川 明		17	13			30							
10	芹沢太麻樹	10	5		9	2	26							



ホンダ、ヤマハ、スズキの激突 混戦のGP250クラス

ここまでの5レース中、加藤大治郎が3勝、沼田、芳賀がそれぞれ1勝ずつを挙げている。

優勝回数だけを見ると加藤が抜け出しているが、ポイントテーブルに目を移してみると、状況はやや異なる。加藤の82点に対し、芳賀が84点を獲得してポイントリーダーとなっているのだ。また沼田は69点と、この二人からやや離れてしまっている。

芳賀がライディングするマシンは、ファクトリーチューンながらもベースは市販TZ250。一方、ポイントランキングを争っている加藤はNSR250、沼田はRGV-Γ250というファクトリーマシンだ。NSRやΓといったファクトリーマシンはまさに、一人のライダーのために膨大なコストがかけられ、製作されたワンメイクの集大成となっている。対する市販レーサーは、地方選手権から全日本、さらにはGPまで、幅広いユーザーに対応できるように造られている。一人のライダーの勝利のために造られたマシンと、最大公約数を対象としたマシン。成り立ちから、両車には大

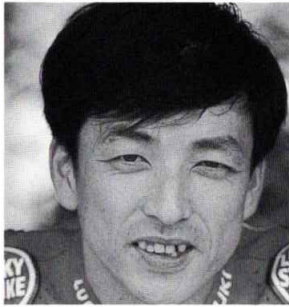
きな差が存在するのだ。しかし芳賀はその差を詰めるべく、マシンのコンディションを常に高いレベルで維持し、コースコンディションなどによる差が出ないように、ミスのないレースを狙っている。その差が出たのが、第4戦鈴鹿でのレースだった。この日のレースは雨となってしまう、十分なセッティングの出していないライバルたちを尻目にトップを快走し、見事全日本初優勝を遂げたのだ。こうした積み重ねが、現在のポイントリーダーとなっている最大の理由と言える。公式練習から予選と、決勝を想定してミスが出ないレーススケジュールをこなす芳賀の戦いぶりは、ぜひ注目して欲しい。

またランキング2位に付ける加藤は、ドライでは圧倒的速さを見せている。その加藤の最大の課題は雨のレースだ。加藤が使用しているミシュランのレインタイヤと日本のサーキットのマッチングがまだ十分に図れていないため、どうしてもドライのレースのようにウエットでは走れずにいる。しかし加藤自身

は雨を苦手としているわけではないので、セッティングさえ出れば、克服してくるはずだ。セッケン1を付け、今年もチャンピオン候補筆頭に挙げられている沼田だが、どうしても自分の中でイメージしているレース展開を決勝でトレースできずにいる。GPを目指す沼田にとって、ライバルとの戦いはもちろん重要だが、レースタイムを一つの目標としている。そのため、序盤から最後までハイペースで走り切ることをテーマとしているのだが、セッティングが完全でないことから、終盤にタイヤの負担が増え、ペースを維持できないようだ。このあたりが最大の課題と言える。

沼田と同じマシンに乗る加賀山幸男が第5戦でポールポジションを獲得するなど、全体的に速さを備えてきたスズキ陣営。チーム力が今後、どのようなマシンセッティングに反映されるか、興味深いところだ。

またプライベートの匹田禎智、松戸直樹、前田誠司、小倉直人らも安定して上位にいただけに、目の離せない存在だ。



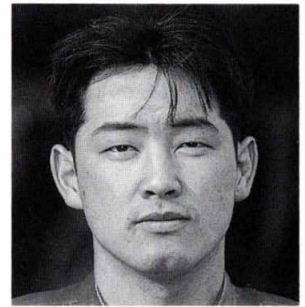
1 沼田憲保 スズキ
RGV-F 250
ラッキーストライク・スズキ
ディフェンディングチャンピオン沼田。現在ポイントでは3位につける。筑波でのノーポイントが痛いところ。巻き返しに期待大だ。



5 加藤大治郎 ホンダ
NSR250
Team高武RSC
今年は速さはもちろん、確実にゴールしているのが評価されている。ここまで最多の3勝を挙げ、ランキング2位につけている。



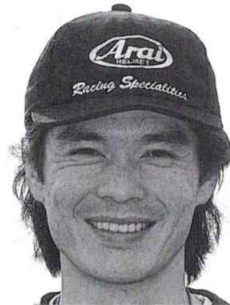
6 芳賀健輔 ヤマハ
TZ250
Y.R.T.
第4戦の鈴鹿で念願の初優勝を達成。今シーズンは常に表彰台に上がる活躍を見せ、ポイントテーブルのトップを走っている。



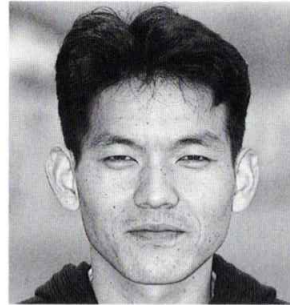
36 本間利彦 ヤマハ
TZ250
Y.R.T.
今年から全日本GP250クラスに復帰。第4戦では2位に入賞。徐々に実戦の感覚を取り戻しているだけに、そろそろ勝ちたいところだ。



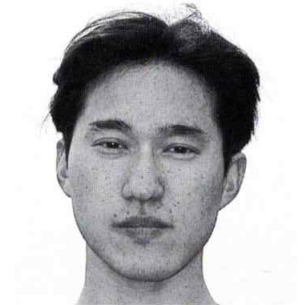
41 加賀山幸男 スズキ
RGV-F 250
JAJA.RACING TEAM
今季は、500ccの開発を主に、GP250に参戦している。第5戦富士では、ポールポジションを獲得。決勝も4位と調子を上げている。



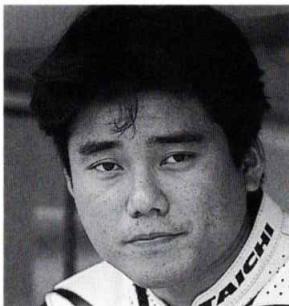
51 匹田禎智 アプリリア
RSV250
チームボスコ・モト&デイトナ
今年からチーム・デイトナのアプリリアを駆る。ここまでの最高位は筑波での4位。まだまだ本来の実力を出し切れていない。



7 森兼正明 ホンダ
NSR250R
ENDURANCE
トッププライベートターの1人。開幕戦ではトップ争いを展開し4位に入賞。コンスタントにポイントを獲得しランキング6位につける。



10 前田誠司 ヤマハ
TZ250
HITMAN RC甲子園ヤマハ
昨年、T1ラウンドで大怪我を負う。ここに来て本来の走りが戻りつつあるだけに、ワークスを食べる走りをを見せてくれるだろう。



24 秋吉弘亮 スズキ
RGV-F 250
JAJA.RACING TEAM
昨年の後半戦からV-1で全日本に参戦。今季は第5戦富士よりGP250にエントリー。早くも自己最高位を更新し6位に入賞する。



15 松戸直樹 ヤマハ
TZ250
コンパイルレーシングヤマハ
今シーズンよりコンパイルレーシングヤマハに移籍。開幕戦から常にプライベートターのトップを走る活躍を見せる。ランキングも5位。



■GP250ポイントランキング (暫定)

順位	氏名	第1戦 鈴鹿	第2戦 SUGO	第3戦 筑波	第4戦 鈴鹿	第5戦 富士	計	第6戦 SUGO	第7戦 MINE	第8戦 鈴鹿	第9戦 筑波	第10戦 TI	第11戦 SUGO	合計
1	芳賀 健輔	17	15	17	20	15	84							
2	加藤大治郎	9	20	20	13	20	82							
3	沼田 憲保	20	17		15	17	69							
4	本間 利彦	15	13		17	11	56							
5	松戸 直樹	11	5	11	6	9	42							
6	森兼 正明	13	10		5	7	35							
7	浜口 俊之	8		8	11	6	33							
8	亀谷 長純	7	11	15			33							
9	小倉 直人		9	10	7	5	31							
10	野田 弘樹	6		7	10	3	26							



誰が勝つか分からない 集団でのトップ争いが毎回展開

前回の第5戦富士でのレースは、このクラスのレースを象徴するにふさわしい内容だった。ロングストレートでの激しいスリップストリームでは10台を越えるマシンが連なり、続く1コーナーでは横一列にそれらのマシンがコーナーへアプローチ。コーナー毎などというなまやさしいものではなく、コーナー入り口と出口でライダーが入れ代わり、しかもストレートでは、トップを走っていたマシンが1コーナーまでで一気に5位まで落ちてしまうという、息を抜く暇のないレースがスタートからフィニッシュまで展開されたのだ。

ここまでの5戦で毎回こうしたレースが繰り返されてきたが、ポイントテーブル上では、小澤敏明が頭ひとつ、抜け出している。昨年までは転倒が多く、トップグループを走る速さは十分にあったが、なかなか安定せずにいた。しかし今年の小澤は違う。第2戦で念願の初優勝を遂げると、第5戦でも優勝。取りこぼしのないレースを見せ、75点でポイントリーダーとなっているのだ。また昨年のも最

勝に輝いた東雅雄は、昨年以上に安定した速さを見せ、ポイントランキング2位に付けている。トップクラスの速さを誇るチームフジワラチューンのRSも相変わらずの速さを見せている。今年は昨年の速さに加え、落ち着いたレース運びを展開し、ひと味違う戦いぶりを見せている。象徴的だったのが、第4戦筑波大会だ。いつも通りのテールtoノーズ状態だったが、それは表面上のことで、混戦の中でも東がしっかりとレースをコントロールし、今季1勝目を挙げたのだった。昨年と変わらぬ速さに加え、落ち着いたレース運びは、ゼッケン2にふさわしいものだ。

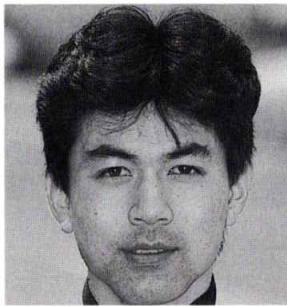
ランキング3位に付けているのは、GPから全日本に戻ってきた仲城英幸だ。ライダーの技術が何よりも要求される雨のレースとなった第1戦で優勝。さらに雨の第4戦では2位と、GPで学んだテクニックを十分に見せつけ、トップグループに加わっている。マシンレギュレーションの違いから、全日本仕様のマシン造りに手間取り、ライバルに対してま

だマシン面で若干のハンディを抱えているようだが、それも徐々に解消しており、第5戦富士での最高速バトルでは、最後までトップグループに加わる速さを見せた。

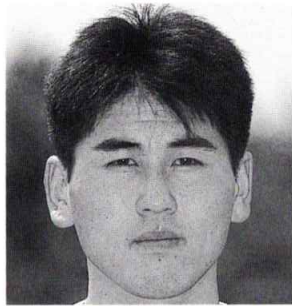
また第4戦で悲願の全日本初優勝を遂げた高尾和弘も、今後のシーズンの鍵を握る可能性を感じさせるライダーだ。ハルクプロチューンのRSをライディングし、マシン面でのアドバンテージをフルに生かし、切れのあるコーナリングとあいまって、常にトップグループに加わっている。

ランキング4位の佐藤慎也は、表彰台こそ今季1回だけだが、トップグループの常連になっている。ライダーズサロン横浜チューンのRSはレース毎に仕様が異なり、意欲的なマシン開発を反映するかのよう、速さもレース毎に増している。

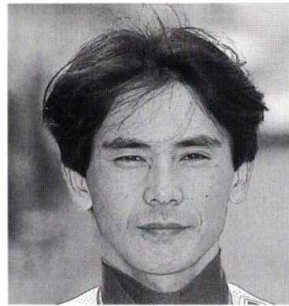
この他、中野真矢、小野真央、上江洲克次など、実力あるライダーの多いこのクラス。トップでチェッカーを受けるのは誰か？



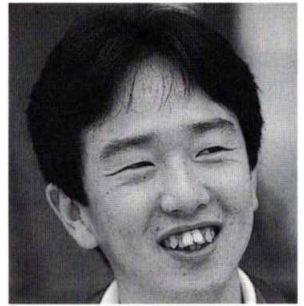
② 東 雅雄 ホンダ RS125R
チーム フジワラBP
筑波では得意の追い上げて今季1勝目を挙げる。しかし、第2戦でのリタイアが響きランキングは2位。今年こそチャンプを狙う。



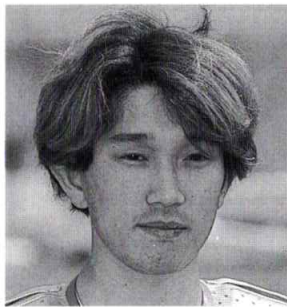
⑥ 小澤敏明 ホンダ RS125R
ENDURANCE&彩光
第2戦SUGOでは念願の初優勝を飾る。前回の富士も制し2勝目を飾る。今年は速さに安定感が加わりポイントランキングトップにつける。



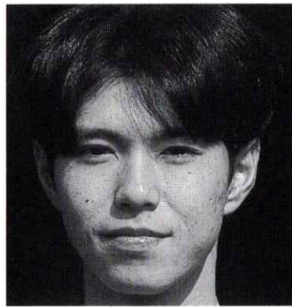
④ 高尾和弘 ホンダ RS125R
カストロールTEAM/ハルクプロ
全日本初優勝を鈴鹿で飾る。富士では不運なリタイアに終わるが、第2戦SUGOではいい走りを見せていただけに今回も優勝候補だ。



③ 茨木 繁 ヤマハ T Z 125
Y.R.T.
T Z 125の開発ライダー。その実力は世界でも通用する。昨年もスポット参戦ながら3勝を挙げランキング3位。今季全日本に初登場。



⑤ 菅谷慎一 ホンダ RS125R
ALICE&Calbee
シーズンオフに負った怪我も癒えてきたが、まだ何か続きかみ合っていない。シーズンの折り返しである今回で転機をつかみたいところ。



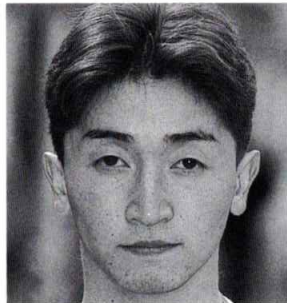
⑫ 中野真矢 ヤマハ T Z 125
SP 忠男レーシングチーム
開幕戦では2位に入賞し、幸先の良いスタートを切った。しかし、その後はマシンセッティングに悩んでいるようだ。



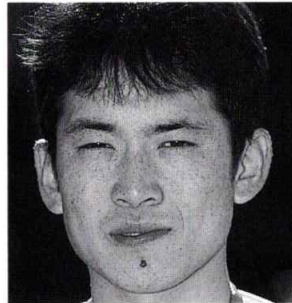
⑩ 仲城英幸 ホンダ RS125R
Jha レーシング
94~95年と世界グランプリにフル参戦。今年から全日本に復帰している。開幕戦から独走で優勝し、その実力を見せつける。



⑧ 上江洲克次 ヤマハ T Z 125
TEAM 伸興通産 J.Racing
今シーズンは苦しい戦いが続いている上江洲。だが、第5戦富士ではポールポジションを獲得するなど、調子は上向いているようだ。



⑦ 小野真央 ホンダ RS125R
カストロールTEAM/ハルクプロ
91年の全日本GP125クラスチャンピオン。今年はここまで目立った成績を残していないが、本来の実力はこんなものじゃないはずだ。



⑩ 佐藤慎也 ホンダ RS125R
ライダーズサロン横浜
今期は優勝こそないものの常にトップを争っている。ここまでは、コンスタントにポイントを重ね、ランキング4位につけている。



■GP125ポイントランキング (暫定)

順位	氏名	第1戦 鈴鹿	第2戦 SUGO	第3戦 筑波	第4戦 鈴鹿	第5戦 富士	計	第6戦 SUGO	第7戦 MINE	第8戦 鈴鹿	第9戦 筑波	第10戦 TI	第11戦 SUGO	合計
1	小澤 敏明	13	20	17	5	20	75							
2	東 雅雄	11		20	15	15	61							
3	仲城 英幸	20		10	17	13	60							
4	佐藤 慎也	15		13	13	11	52							
5	高尾 和弘	9	17	2	20		48							
6	稲毛田 潤	5	15			8	28							
7	上江洲克次	8			11	6	25							
8	中野 真矢	17		6			23							
9	水野 生久	7	8	1	4		20							
10	澤田 令				3	17	20							

125

INT GP125



ゼッケン	予選 組分	予選 順位	決勝 順位	ライダー名	年齢	所属県	マシン	チーム名
2	A			東 雅 雄	25	高 知	H-RS125R	チーム フジワラ BP
3	B			茨 木 繁	27	兵 庫	Y-TZ125	Y. R. T.
4	A			高 尾 和 弘	28	愛 知	H-RS125R	カストロール TEAM ハルクプロ
5	B			菅 谷 慎 一	23	東 京	H-RS125R	ALICE & Calbee
6	A			小 澤 敏 明	26	埼 玉	H-RS125R	ENDURANCE & 彩光
7	B			小 野 真 央	24	栃 木	H-RS125R	カストロール TEAM ハルクプロ
8	A			上江洲 克 次	21	愛 知	Y-TZ125	TEAM 伸興通産 J.Racing
9	B			藤 岡 祐 三	23	愛 媛	H-RS125R	Team フジオカ
10	A			佐 藤 慎 也	25	神 奈 川	H-RS125R	ライダーズサロン 横浜
11	B			金 井 雅 明	27	茨 城	H-RS125R	Fine Racing
12	A			中 野 真 矢	18	千 葉	Y-TZ125	SP忠男レーシングチーム
13	B			大 塚 勇 二	27	神 奈 川	H-RS125R	TRR-PENSION ☆ OZ
14	A			大 崎 誠 之	25	福 岡	H-RS125R	テクノギルドレーシングチーム
15	B			岡 村 崇 規	25	三 重	H-RS125R	チーム フジワラ BP
16	A			久 保 和 寛	24	京 都	H-RS125R	Jha レーシング
20	B			伊 東 忠 孝	27	宮 城	H-RS125R	レーシングサヤマ ライドスポーツ
22	A			天 野 邦 博	26	東 京	H-RS125R	チーム アクタス
23	B			渡 部 伸	25	埼 玉	H-RS125R	ホンダ ブルーヘルメットMSC
26	A			山 下 祐	28	神 奈 川	H-RS125R	サムシステム、M'-PRO!
27	B			上 野 秀 昭	29	愛 知	H-RS125R	チーム カツラガワ
28	A			西 山 康 典	23	宮 城	H-RS125R	クルーズレーシングチーム
29	B			秋 田 貴 志	22	神 奈 川	H-RS125R	ALICE & Calbee
30	A			菊 池 寛 幸	30	京 都	H-RS125R	チーム ウイリー
31	B			鶴 飼 孝 徳	26	三 重	H-RS125R	RGニワ ☆ PENSION-OZ
32	A			稲毛田 潤	29	神 奈 川	H-RS125R	Dinky & Able com.
34	B			永 田 健 二	26	三 重	H-RS125R	TEAM カツラガワ
35	A			中 村 実	24	宮 城	H-RS125R	レーシングサヤマ ライドスポーツ
36	B			酒 井 大 作	14	大 阪	H-RS125R	TEAM-SRS・J
37	A			佐 藤 貴 之	22	宮 城	H-RS125R	南海部品仙台店 ROAD Walker <s>
38	B			水 野 生 久	27	愛 知	Y-TZ125	Support Racing
40	A			永 塚 良 典	27	茨 城	H-RS125R	TEAM・i-FACTORY
41	B			松 永 弘 志	22	千 葉	H-RS125R	テクニカルスピード
43	A			興 梶 義 則	23	三 重	H-RS125R	爽風会 鈴鹿レーシングチーム
44	B			伊 東 哲	28	東 京	H-RS125R	RACING SUPPLY
45	A			榊 原 浩 二	27	愛 知	Y-TZ125	★ Support Racing ★
46	B			坂 西 博 光	26	三 重	H-RS125R	横井エンジニアリング
48	A			小 林 正 義	26	千 葉	H-RS125R	TEAM AKAGI & Jha
49	B			澤 田 令	18	愛 知	H-RS125R	TEAM-SRS・J
50	A			水 戸 健 一	27	愛 知	Y-TZ125	IKKO RACING
51	B			鈴 木 健	25	埼 玉	Y-TZ125	ガレージ サイトウ
52	A			松 井 剛	27	東 京	H-RS125R	M-TUNE Racing
53	B			深 井 一 城	28	神 奈 川	H-RS125R	ナカノレーシング & MOTO BUM

1分36秒253 1996年4月28日

INT GP125

ゼッケン	予選 組分	予選 順位	決勝 順位	ライダー名	年齢	所属県	マシン	チーム名
54	A			羽鳥 誠	24	群馬	H-RS125R	TRR-Team AKAGI
55	B			杉野 英史	26	三重	H-RS125R	爽風会 鈴鹿レーシング
56	A			大石 義次	25	東京	Y-TZ125	EAST CORE
58	B			依田 裕章	24	神奈川	H-RS125R	Dinky & Able com.
61	A			浦尾 隆弘	23	東京	H-RS125R	サンエイレーシング & フォルザ
62	B			笹島 義久	28	神奈川	H-RS125R	Dinky & Able com.
63	A			岡田 純一	22	京都	H-RS125R	Jha レーシング
64	B			細谷 陽一	24	三重	H-RS125R	横井エンジニアリング
65	A			城戸 謙二	19	福岡	Y-TZ125	HITMAN RC甲子園ヤマハ
66	B			亀田 勝太	24	栃木	H-RS125R	TEAM i-F & PSR
67	A			塚田 実	28	東京	H-RS125R	Team 桜井ホンダ
68	B			小磯 栄	27	茨城	H-RS125R	ナカノレーシング & モトα & RCY
69	A			小島 崇志	29	新潟	H-RS125R	T.KANEYASU 桜井ホンダ
71	B			東 敬太	30	東京	H-RS125R	Dinky & Able come
72	A			林 達也	24	東京	H-RS125R	モトバム レオス レーシング
74	B			道山 武史	34	東京	H-RS125R	SEIJOY BAY RACING
75	A			小林 弘幸	26	栃木	H-RS125R	TEAM・i-FACTORY
76	B			大橋 賢	22	三重	H-RS125R	テクニカルスポーツ
77	A			小寺 淳二	23	岐阜	Y-TZ125	TEAM 伸興通産 J.Racing
78	B			横江 竜司	18	宮城	Y-TZ125	NISSEKI & 森のくまさん MIZTEC~!!
80	A			山下一 彰	32	静岡	H-RS125R	M'-PROJECT
81	B			河崎 充	21	宮城	Y-TZ125	スカイロードレーシング
83	A			西沢 将弘	23	埼玉	H-RS125R	ENDURANCE
84	B			加藤 誠一	23	宮城	H-RS125R	TOYO & TOWNS RT
85	A			猪瀬 修	26	栃木	H-RS125R	TEAM・i-FACTORY
86	B			山根 幸男	31	東京	H-RS125R	チーム KAZUMA オートオーエ
88	A			武藤 しんじ	30	愛知	H-RS125R	Team KOHSAKA
89	B			伴 善之	24	東京	H-RS125R	カスタロール TEAM ハルクプロ
90	A			荒木 満	29	神奈川	H-RS125R	Dinky & Able com.
91	B			寺林 拓実	27	埼玉	H-RS125R	カスタロール TEAM ハルクプロ
92	A			平間 司	23	宮城	H-RS125R	ガレーヂクニマサ & グリル TOGO!
94	B			山科 真治	29	東京	H-RS125R	チームファニー WING オクムラ
95	A			渡辺 裕司	28	神奈川	H-RS125R	Dinky Racing
97	B			藤原 優	34	東京	H-RS125R	Team エスピー
98	A			渡辺 淳衛	23	福島	H-RS125R	クルーズレーシング & 会田車体!
99	B			吉川 和宏	29	神奈川	H-RS125R	ペンタグラム & Agip
100	A			山田 実	30	千葉	H-RS125R	Fine Racing
103	B			古橋 徹	23	埼玉	H-RS125R	M' PROJECT
106	A			中川 実	27	千葉	H-RS125R	モトバム レオス レーシング
109	B			仲城 英幸	27	奈良	H-RS125R	Jha レーシング
123	A			中島 一樹	22	千葉	H-RS125R	Fine Racing
178	B			稲葉 良	26	東京	H-RS125R	SEIJOY BAY RACING

250

INT GP250



ゼッケン	予選組分	予選順位	決勝順位	ライダー名	年齢	所属県	マシン	チーム名
1	A			沼田 憲保	30	静岡	S-RGV-Γ250	ラッキーストライク、スズキ
5	B			加藤 大治郎	20	埼玉	H-NSR250	Team 高武RSC
6	A			芳賀 健輔	23	愛知	Y-TZ250	Y. R. T.
7	B			森 兼正明	28	埼玉	H-RS250	ENDURANCE
9	A			喜久川 光	28	広島	Y-TZ250	コンパイルレーシングヤマハ
10	B			前田 誠司	25	兵庫	Y-TZ250	HITMAN RC甲子園ヤマハ
11	A			玉田 誠	19	愛媛	H-RS250R	Team 高武RSC
12	B			小倉 直人	27	新潟	Y-TZ250	IKKO RACING
13	A			浜口 俊之	26	愛知	H-RS250R	TEAM NUTS/ & コウサカ
15	B			松戸 直樹	22	千葉	Y-TZ250	コンパイルレーシングヤマハ
16	A			関口 太郎	20	東京	Y-TZ250	YESS レーシングチーム
19	B			野田 弘樹	26	奈良	H-RS250	HIRYU RACING
20	A			原田 伸也	24	千葉	Y-TZ250	SP忠男レーシングチーム
21	B			高橋 司	27	福島	Y-TZ250	チーム ハイブリッジ
22	A			山川 智之	28	宮城	H-RS250R	TOYO-TOWNS RT
24	B			秋吉 弘亮	21	静岡	S-RGV-Γ250	JAJA RACING TEAM
25	A			榊原 礼視	25	大阪	Y-TZ250	チームモトスペース TODAYA
26	B			田村 浩司	25	京都	H-RS250	テクニカルスポーツ
27	A			仲地 万寿夫	26	東京	H-RS250	モトバム レオス レーシング
28	B			武山 祐介	24	宮城	Y-TZ250	日石 & ミズテック 森くま TNS
29	A			戸田 隆	33	東京	H-RS250	スーパービルドマキシマム RT
32	B			及川 誠人	25	神奈川	Y-TZ250	スポーツライダー & KISS RT
33	A			中川 直史	23	三重	H-RS250	爽風会 鈴鹿レーシングチーム
36	B			本間 利彦	29	愛知	Y-TZ250	Y. R. T.
37	A			更科 裕樹	30	宮城	Y-TZ250	MOTO FAST RT 根岸オート 出光
38	B			水谷 茂	28	東京	Y-TZ250	PLUSμ & M'-PROJECT
39	A			清水 潤也	25	埼玉	Y-TZ250	スポーツライダー & KISS RT
40	B			小野寺 貴行	23	宮城	Y-TZ250	NISSEKI & 森くま//杜工営
41	A			加賀山 幸男	22	静岡	S-RGV-Γ250	JAJA RACING TEAM
43	B			池上 賢一	24	栃木	H-RS250R	TEAM・i-FACTORY
44	A			甲府方 周二	23	東京	Y-TZ250	エキスパートレーシング
45	B			入野 博昭	25	埼玉	Y-TZ250	スポーツライダー & 富士電工
46	A			田中 康文美	24	宮城	H-RS250	TOWNS-ファームたぬきざわ
47	B			宮田 剛志	28	三重	Y-TZ250	プレイメイトレーシング
48	A			穴戸 裕二	23	宮城	Y-TZ250	MOTO FAST RT 根岸オート 出光
49	B			新田 一美	28	東京	Y-TZ250	Pentagram & Agip

今年是真夏の祭典へ 第13回 SUGO 400Km耐久ロードレース 大会開催要項

今年もナント 賞金あり 決定!!

- 大会名称 第13回SUGO400Km耐久ロードレース
- 開催日程 '96年8月10日(土) 特別スポーツ走行
8月11日(日) 公式予選・決勝レース
- 競技種目 SP250、SP400
- 周回数 108周(1周:3,737.50m)
- 参加資格
 - ・ライダーは1台の参加車両に対し2名とし、'96年MFJ競技ライセンス国際、国内(フレッシュマン以上)のいずれかを所持していること。 ※国際同士での組み合わせは認めない。
 - ・各チームは補欠ライダー1名を登録することができる。(補欠ライダーは、エントリーライダーが欠場の場合、チームがリタイヤにならないためのものです。) ※補欠ライダーは最大限2チームまで登録されてもよい。
- チーム体制
 - ・登録されている第1ライダーをチーム責任者とする。
 - ・参加者は、ピットクルーを1名以上(最大5名)登録しなければならない。
 - ※ピットクルーは、'96MFJピットクルーライセンス所持者であること。
- 参加受付期間 '96年7月2日(火)~7月11日(木)「当日消印有効」

- 参加料 1チーム36,000円(MFJ共済費含む)
※補欠ライダー登録料は別途 5,000円
(1,000+MFJ共済費4,000円)
- 賞典 総合とクラス別に表彰を行う。賞金についての詳細は、公式通知に記載。
- お問い合わせ・お申し込み
〒989-13 宮城県栗田郡村田町菅生6-1
SUGOスポーツクラブ
TEL 0224(83)3127 FAX 0224(83)3697
- 8月11日(日) 暫定タイムスケジュール



1分31秒898 1993年10月9日

INT GP250

ゼッケン	予選組分	予選順位	決勝順位	ライダー名	年齢	所属県	マシン	チーム名
51	A			匹田 禎 智	33	埼玉	A-RSV250	チームボスコ・モト & デイトナ
52	B			林 祐 孝	26	愛知	Y-TZ250	レーシングチーム YSP刈谷
53	A			石川 智 之	30	静岡	H-RS250	ホンダ浜友会 浜松エスカルゴ
54	B			村田 芳 成	26	大阪	Y-TZ250	
56	A			石井 孝 之	26	千葉	Y-TZ250	M'-PROJECT/
57	B			安 斎 勝 章	25	福島	Y-TZ250	チーム ハイブリッジ
61	A			田中 大 輔	26	愛知	Y-TZ250	TEAM YDS YAMAHA
63	B			大木 正 和	28	山梨	Y-TZ250	Pentagram + Agip
64	A			川上 誠	27	大阪	Y-TZ250	HITMAN RC甲子園ヤマハ
65	B			薄井 誠	29	東京	H-RS250	レーシングチーム タクミ
67	A			小林 健 次	26	埼玉	H-RS250	明和レーシングクラブ
68	B			大場 和 樹	25	宮城	Y-TZ250	VAN-HOUSE & COM
69	A			国井 恒 和	27	東京	Y-TZ250	PAL Racing
71	B			長岡 俊 宏	25	兵庫	Y-TZ250	HITMAN RC甲子園ヤマハ
73	A			星野 誠	31	静岡	Y-TZ250	WINJACK & WAKO'S + BS
74	B			小谷田 欽 章	25	東京	H-RS250R	OX レーシングチーム
75	A			加藤 健 治	23	東京	H-WMO3B	With me P・R・T
76	B			安 斎 信 男	24	福島	Y-TZ250	チーム ハイブリッジ
77	A			小口 亘	29	千葉	Y-TZ250	ALLMAN & MOTUL 郁栄会
78	B			富岡 裕 昭	31	群馬	Y-TZ250	オールマン & MOTUL
79	A			小島 剛	27	神奈川	Y-TZ250	ミクニ クラブベンティス R.P.
80	B			黒川 武 彦	33	栃木	H-RS250R	SPEED & i-FACTORY
81	A			加藤 達 也	22	愛知	Y-TZ250	プレイメイト
82	B			千葉 勲	29	大阪	Y-TZ250	チーム フライングドルフィン
83	A			浅井 一 朗	22	宮城	Y-TZ250	Team ita
84	B			山下 裕 介	19	静岡	Y-TZ250	☆ Black Panther ☆
85	A			小玉 孝 也	27	宮城	Y-TZ250	YRS 森のくまさん MIZTEC☆YFH
86	B			宮地 泰 輔	27	東京	Y-TZ250	PAL レーシング
88	A			毛塚 達 夫	30	埼玉	H-RS250	T-PROJECT
89	B			笠 孝 臣	26	熊本	H-RS250	HONDA 熊本レーシング
91	A			吉岡 博 人	26	栃木	H-RS250	CLUB NEXT & MKC
92	B			田村 則 夫	29	神奈川	Y-TZ250	ツツミモータース 2 F
93	A			三上 亨	28	宮城	Y-TZ250	
99	B			斉藤 憲 治	27	神奈川	Y-TZ250	TOSH-TEC
100	A			秋山 恵利香	24	静岡	H-RS250	Team IVY

最高速 Max Speed チャレンジCup 同時開催！(8/11)

主催:SUGOスポーツクラブ
後援:「バイク王」 ◎証明書発行

■開催日時: '96年8月11日(日) AM9:30~AM11:30

■参加受付期間: '96年7月1日(火)~7月19日(金)

■参加料金: 5,000円(保険料含む)

■参加資格: 原付免許以上(MFJライセンス、コースライセンス不要)

■参加オートバイ: ●市販ノーマル車 ●市販改造車 ●レーサーマシン

■装備: ヘルメット、ツナギ、グローブ、ブーツ 安全対策はフル装備で!

※詳細は、7/6発売の「バイク王」をご覧ください。

■お問合せ・お申込み方法は、随時下記まで。

〒989-13
宮城県柴田郡村田町菅生6-1
最高速チャレンジCup事務局
TEL 0224 (83) 3127 FAX 0224 (83) 3697
担当: 渡辺/伊藤まで

※タイムスケジュールと参加申込書をお送りします。

SR INT SUPERBIKE



ゼッケン	予選組分	予選順位	決勝順位	ライダー名	年齢	所属県	マシン	チーム名
1	A			青木拓磨	22	群馬	H-RVF/RC45	TEAM HRC
2	B			武石伸也	28	北海道	K-ZX-7RR	KRT RR
3	A			藤原克昭	21	静岡	S-GSX-R750	ラッキーストライク・スズキ
5	B			藤原儀彦	29	静岡	Y-YZF750	Y. R. T.
6	A			柳川明	24	静岡	K-ZX-7RR	KRT RR
7	B			北川圭一	29	静岡	S-GSX-R750	ラッキーストライク・スズキ
8	A			生見友希雄	30	東京	D-916	チーム・ファンデーション
9	B			梁明	28	兵庫	K-ZX-7RR	KRT RR
10	A			芳賀紀行	21	愛知	Y-YZF750SP	テクノモーターエンジニアリング
13	B			長谷川克憲	27	千葉	Y-YZF750SP	PJ1 MAX KLEVER RC SUGO
14	A			鶴田竜二	30	愛知	K-ZX-7RR	チームイワキ K's ガレージ
16	B			金安智彦	34	新潟	H-RVF/RC45	Team 桜井ホンダ
19	A			芹沢太麻樹	23	埼玉	S-GSX-R750T	ヨシムラ・スズキ・GP1プラス
26	B			和泉美智夫	28	大阪	H-RVF750	モリワキレーシング
29	A			賀来聡介	25	東京	Y-YZF750SP	PJ1 & スガヤスピード RC SUGO
30	B			赤木哲也	24	静岡	H-RVF750	ホンダ浜友会 浜松エスカルゴ
32	A			原口祐二	28	三重	H-RVF/RC45	爽風会・鈴鹿レーシングチーム
35	B			芦名秀美	28	宮城	H-RVF750R	クルーズRT & Kasai 出光
36	A			泉名英男	31	埼玉	H-RVF750R	向陽会ドリームレーシングチーム
37	B			筒井秀明	29	埼玉	K-ZXR750R	RS-ITOH
40	A			鎌田学	25	北海道	H-RVF/RC45	Team 桜井ホンダ
41	B			宗和孝宏	30	兵庫	D-916	Team SOHWA
43	A			井村和弘	24	京都	K-ZXR750	カストロール・チームボンバー
44	B			深見貴広	25	愛知	Y-YZF750	クレバーウルフレーシングチーム
45	A			武田雄一	18	埼玉	H-RVF/RC45	TEAM HRC
47	B			佐藤清和	29	栃木	H-RVF/RC45	オートテクニックスポーツ
48	A			西村慶太	31	埼玉	H-RVF/RC45	むさしの会 狭山レーシング

楽しいイベントも見逃せない!

1 ピットウォーク & コース見学会

日時: 7/7 ●ピットウォーク12:25~
●コース見学会12:25~
場所: SUGO国際レーシングコース
※当日バドック券購入者のみ対象となります。

2 レーシングコース体験走行会

日時: 7/7 16:00~17:00 (予定)
場所: SUGO国際レーシングコース
※レーシングコースを自車(125cc以上のオンロード車)で走行。

3 憧れのライダーとのトークショー & チャリティーオークション

日時: 7/7 12:25~13:00(予定)
場所: レーシングコース グランドスタンド特設テント

4 人気ライダーを囲んでの交流パーティ

日時: 7/6 17:45~20:00 (予定)参加料:4,000円
場所: ホテルくぬぎ山荘ファンクションルーム 定員:50名
●お申込: SUGOモータースポーツ課(☎0224-83-3127)
または大会当日グランドスタンド特設テント。

5 イベント広場

●各メーカーPRブース出店
日時: 7/7 9:00~16:00(予定)
(なお、スケジュール及び会場が変更となる
場合もございますので、あらかじめご了承ください。)

●'96MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ年間カレンダー

開催日程			開催場所		
第6戦	7月6日(土)・7日(日)	SUGO	第9戦	9月21日(土)・22日(日)	筑波
第7戦	8月10日(土)・11日(日)	MINE	第10戦	10月5日(土)・6日(日)	T I 英田
第8戦	9月7日(土)・8日(日)	鈴鹿	MFJGP 第11戦	11月2日(土)・3日(日)	SUGO

INT SB SUPER BIKE

ゼッケン	予選組分	予選順位	決勝順位	ライダー名	年齢	所属県	マシン	チーム名
50	B			松原 泉	27	埼玉	K-ZXR750R	RS-ITOH & 酒巻クリニック
52	A			小野寺 康浩	28	宮城	D-888	ita & ナオエマシナリー
55	B			清水 正己	27	宮城	Y-YZF750	遠藤輪業RT & スペースアート
56	A			柳 賢一	29	群馬	K-ZXR750R	Team Shiota
57	B			中谷 真也	25	兵庫	K-ZXR750	チーム阪神ライディングスクール
58	A			中澤 敬一	29	宮城	K-ZXR750R	遠藤輪業RT & スペースアート
59	B			山 中正之	28	神奈川	H-RVF750	レーシングチーム ハニービー
63	A			高橋 徹	24	埼玉	Y-YZF750	スーパービルドM オザワ R & D
65	B			塚本 正章	25	熊本	H-RVF/RC45	HONDA 熊本レーシング
75	A			青柳 幸広	24	大阪	Y-YZF750	SWIFT. R. MOTUL
76	B			鈴木 誠	31	静岡	D-916	TEAM・KATAYAMA
77	A			谷口 仁	32	栃木	Y-YZF750SP	コンパニオンフレンド & モト片柳
78	B			大屋 徹	27	新潟	H-RVF/RC45	T.KANEYASU 日本精機
80	A			安西 和人	28	神奈川	H-RVF/RC45	ガレージ湘南 & ゼロハリバートン
81	B			吉 広 敦	30	栃木	H-RVF/RC45	CLUB NEXT & MKC
96	A			井筒 仁康	25	千葉	D-916	チーム ファンデーション
98	B			中村 保	25	東京	Y-YZF750SP	RSカタクラ/YSP八王子南
831	A			神谷 登	27	神奈川	H-RVF750R	レディオ湘南 & 桜井ホンダ

'96 SUGO TZ入門レーシングスクール

校長に、元世界GPライダー平 忠彦氏。講師に、現ヤマハファクトリーライダー茨木 繁選手を迎えて開催されるレーシングスクールです。

車両は主催者が準備・特典としてSSCMライセンスが18,000円で入会可能

初心者を対象としたレース参加のノウハウ及び、トータルなライディング教育を行います。

■主催:SUGOスポーツクラブ
共催:ライディングスポーツ
後援:ヤマハ発動機株式会社

開催日及びタイムスケジュール

1日コース	8月14日(水) 10月21日(月)
合宿コース	8月19日(月)~20(火)

※タイムスケジュール及び日程はコース状況により変更する場合がございます

(一日コース暫定)

受付	8:30~ 9:00	座学	9:00~ 11:00
実技	11:00~ 17:00		

(合宿コース暫定)

1日目	受付10:00~10:30	座学10:30~14:00
	実技14:00~17:30	
	- ホテル泊 -	
2日目	座学 9:00~ 9:30	実技 9:30~15:30

参加者
募集中

- 開催場所 スポーツランドSUGO
インターナショナルレーシングコース
- 応募資格 レース初心者(原付免許所持者以上の方)
- 募集定員 マシンレンタル希望者 40名(定員になり次第〆きり)
※ 持込受講者 10名(定員になり次第〆きり)
- 受講料 1日コース 20,000円(マシン持込者10,000円)
合宿コース 35,000円(マシン持込者25,000円)
※前泊希望の方は、申込み時に御申し出下さい
(別途料金となります)
- 講習内容 講義(レースに対する心構え・準備、マシンメンテナンス及び改造、レーステクニックの解説等)サーキット総合講習、ディスカッション。
- 受講に必要な物 運転免許証・健康保険証・筆記用具・実技装備一式
- 申込方法 電話にて予約を受付致します。予約後、申込用紙をお送り致しますので必要事項を記入し、受講料を同封の上現金書留にて郵送してください。折り返し受講受理書をお送りいたします。
- 電話予約受付期間
8月14日(水) (一日コース)平成8年6月19日追加スクール
8月19日(月) (合宿コース)平成8年6月19日~
10月21日(月) (一日コース)平成8年8月21日~

※受付期間内であっても定員に達した場合には、予約受付を締め切らせて頂きます。

予約受付
お問い合わせ

〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1
スポーツランドSUGO内「SUGOレーシングスクール」係
TEL 0224-83-3127 (電話受付時間 AM10:00~PM4:00)

SUGO国際ナショナルレーシングコースへようこそ!

ROAD RACEを 楽しもう!



4サイクルマシンでの世界の頂点のレース

ワールドスーパーバイク日本ラウンドが 8月24、25日にスポーツランドSUGOで開催!

よりイコールに近いマシンによるレースを目的としてスタートした全日本選手権スーパーバイククラス。その手本となったのが、ワールドスーパーバイク選手権だ。

4サイクルの4気筒は750ccまで、2気筒は1000ccという排気量に定め、フレームの改造は禁止され、エンジンも大幅なチューニングができないマシンレギュレーションとされているこのレース。マシン差が少なく、しかもベースマシンは、一般のライダーが乗っているストリートバイクのため、非常に身近に感じられるレースとして人気が高い。

4サイクルマシンでのレースの最高峰であるこのワールドスーパーバイク選手権が今年も8月24、25日にここスポーツランドSUGOにやって来る。

ワールドスーパーバイク選手権のレベルの高さを証明した一つの形が、昨年の予選だった。それまでSUGOの二輪でのコースレコードは、マイケル・ドゥーハンがNSR500で記録した1分30秒983だったが、ドゥカティ

を駆るカール・フォガティがこれを上回る1分30秒887をマークしたのだ。ドゥーハンの記録は91年のTBCビッグロードレースでマークされ、昨年の時点でも3年前のものだが、それでもGP500マシンの記録をプロダクションベースの4サイクルマシンが破ったという事実は驚異的だった。

さて気になる今年のシリーズだが、6月下旬現在で全4戦が行われている。第1戦は4月14日にイタリアのミサノサーキットで行われ、第1、2ヒートともにドゥカティを駆るジョン・コシンスキーが制した。93年のシーズン半ばにGPの舞台を追われ、復帰の道を模索していたジョンは今年、ドゥカティのファクトリーマシンでスーパーバイク世界選手権を戦うこととなった。デビューウインを果たし、その実力の高さを改めて証明することとなった。

続く第2戦はドイツのホッケンハイムで行われ、第1、2ヒートともにドゥカティのコーサーが優勝を飾った。

この2戦を見るとドゥカティ優位、という印象が強いが、第3戦ではやや状況が変わってきた。第1ヒートをホンダのアーロン・スライトが、第2ヒートもホンダのカール・フォガティが勝ったのだ。また第1ヒート2位はコシンスキー、3位ヤマハのコーリン・エドワーズ、第2ヒート2位はスライト、3位コシンスキーという顔ぶれによる表彰台となった。

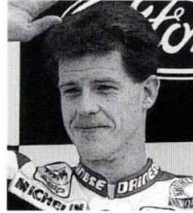
さらに第4戦イタリアのモンツァでは、第1ヒートをフォガティとスライトのホンダコンビが1・2位、第2ヒートをドゥカティのピエール・フランチェスコ・キリが優勝し、2位スライト、3位フォガティとなった。

昨年はドゥカティをライディングしたフォガティがシリーズチャンピオンを獲得したが、今年は誰がチャンピオンとなるか、まったくわからない状況となっている。

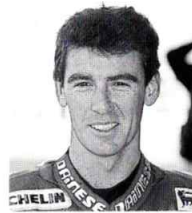
8月25日のSUGOでも、激しいバトルは必須。ロードレースファンなら見逃せない、好レースが期待される。

DUCATI

V型2気筒エンジンを搭載し、扱いやすいトルク特性と、軽量な車体を生かしたコーナリングを心情とするドゥカティ。90年GP250チャンピオンのコシンスキーがファクトリーライダー。トロイ・コーサーはサテライトチームからの参戦となっている。



ジョン・コシンスキー



トロイ・コーサー

HONDA

クラス唯一のV型4気筒エンジンを搭載するRVF/R45。96年型マシンの仕上げは高く、全日本でも圧倒的速さを見せている。ライダーはチャンピオンフォガティと、8耐優勝ライダーのスライト。WSBでも第3戦で二人が両ヒートに分けあう活躍を見た。



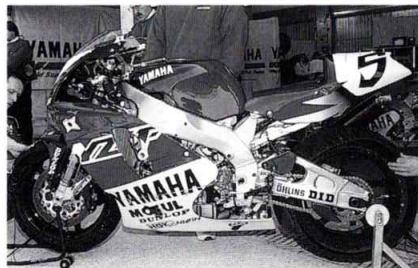
カール・フォガティ



アーロン・スライト

YAMAHA

昨年はシーズン半ばに活動を休止したヤマハファクトリーだが、今年は吉川とエドワーズを擁し、シリーズを戦っている。昨年はマシンの仕上げに手間取ったが、今年は順調で、第3戦第1ヒート、第4戦の第1ヒートもエドワーズが3位表彰台に上がっている。



吉川 和多留



コーリン・エドワーズ

KAWASAKI

ニューマシンとなったZX-7RRで戦うカワサキファクトリー。ライダーは、ゴバートとクラファ。第2戦の第1ヒートでは2位クラファ、3位ゴバート、続く第2ヒートではゴバートが3位でフィニッシュ。今後の活躍が楽しみなライムグリーンだ。



アンソニー・ゴバード

SUZUKI

フレーム、エンジンともに一新されたニューGSX-R750で戦うスズキ。ニューマシンということで、開発しながらの実戦参加となっているが、第4戦第1ヒートでは8位とレース毎に順位を上げてきている。シーズンが進むに連れ、さらに上位に来るはずだ。



'96SUGO サーキットライセンス 講習会

主催 SUGOスポーツクラブ

スポーツランドSUGOのレーシングコースを走行するには、SUGOサーキットライセンス講習会を受講しSSCM(SUGO SPORTS CLUB MATE)会員になる事が条件となります。SSCMライセンス及びMFJライセンスをこれから取得される方は、下記の日程に開催される“'96SUGOサーキットライセンス講習会”を受講してください。

受講申込方法

- 開催日の1ヵ月前から電話にて予約できます。
TEL0224-83-3127 (受付時間 10:00~16:00)
SUGOスポーツクラブ「サーキットライセンス講習会」係
・定員100名(尚、定員になり次第締め切ります。)
- 下記の講習会に必要なものを準備してください。
 - SSCM入会申込書
 - 未成年の場合は承諾書 (SSCM入会申込書裏面)
 - 写真2枚(2.5cm×3cm) 但し、MFJ競技ライセンスのない方は計4枚必要です。
 - 受講料33000円(入会金、年会費、消費税込) 但し、MFJ競技ライセンスのない方は38500円になります。
 - 印鑑
 - 筆記用具
 - 運転免許証
 - 健康保険証
 - '96MFJ競技ライセンス
 - マシン(80cc以上、オンロードに限る)
 - 実技走行できる服装(ヘルメット、皮ツナギ、グローブ、ブーツ)
- 受講申込先
〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生
スポーツランドSUGO内
「サーキットライセンス講習会」係
申込書①~③と受講料④をそえ、開催日の3日前まで所定の郵便振替または、現金書留で 送付(必着)ください。⑤~⑩は、当日講習会へ忘れずに持参してください。

開催日

		タイムスケジュール			
		受付	座学	実技	終了
第7回	7月14日(日)	9:30~10:00	10:00~12:00	12:30~13:00	13:30
第8回	8月17日(土)	9:30~10:00	10:00~12:00	12:30~13:00	13:30
第9回	9月14日(土)	9:30~10:00	10:00~12:00	12:30~13:00	13:30
第10回	10月27日(日)	9:30~10:00	10:00~12:00	12:30~13:00	13:30
第11回	11月16日(土)	9:30~10:00	10:00~12:00	12:30~13:00	13:30
第12回	12月 8日(日)	9:30~10:00	10:00~12:00	12:30~13:00	13:30

- ※ 開催日によりタイムスケジュールが違いますので必ず確認下さい。
- ※ SUGOロードレース選手権時にレースエントリー対象者に講習会を開催しますので、詳しくは事務局にお問い合わせください。
- ※ '96MFJ競技ライセンス国際ライセンス所持者は、申請のみでSSCMに入会できますのでSSCM事務局にお問い合わせください。
- ※ コーススケジュールにより変更あるいは中止になる場合もございます。

RFC会員特典概要

①1996年全日本選手権シリーズ全11戦共通パス（観戦券+パドックパス）進呈

※特別会員のみ（限定100名）

特別会員にのみ発行されるスペシャルメンバーズカードは、1996年全日本ロードレース選手権シリーズ全11戦において有効で、このカードを提示すれば、一部エリアを除いて観戦およびパドックエリアまで入場が可能。

②観戦券・パドックパスの割引販売

1996年の全日本ロードレース選手権シリーズ全11戦において、RFC会員カードを提示すると、観戦料金が当日料金の30%OFF、パドックパスが当日料金の10%OFFで割引購入可能。会員1名様に付き1枚のみ有効。また、鈴鹿日本GP・鈴鹿8耐・WSB(SUGO)の各世界選手権の観戦券・パドックパス等も割引販売がある。

③ピットウォーク開催サーキットで、参加無料

④パドッククラブのご利用

⑤入会記念品進呈

⑥大会会場記念品進呈（先着50名様）

⑦会報の発行

⑧レース情報提供サービス（有料）

⑨サーキット体験走行などのイベントへの優待参加

⑩宿泊観戦バックへの優待割引参加

⑪オリジナルグッズの割引購入

⑫各サーキットの付帯設備における割引等の特典

RFCイベントとは？ その一例をご紹介します

●サーキット体験走行

レース終了後のサーキットを全日本ライダーが先導してのサーキット体験走行する貴重な機会!!



●トークショーイベント

昼のインターバルに行なっているライダーのトークショー。コース上の特設ステージなどで開催!!

●ライダーとの交流イベント

ライダーと身近にコミュニケーションできる交流イベントも開催。サーキットによって土曜日または日曜日の開催となります。

ロードレースファンクラブ

ピットウォークが無料!!

観戦券・パドックパスが大幅割引!!

全日本ロードレース選手権シリーズをファンが一体になって盛り上げながら、全日本ライダーとコミュニケーションしたり、サーキットライフも思いっきり楽しんでしまおうというのが、RFCロードレースファンクラブのコンセプト。MFJプロモーション実行委員会が運営主体となり、全日本ロード開催6サーキット、2輪メーカー4社、国際ライダーの統括団体であるRMA選手会、そしてライダーたちが一体となって盛り上げようとしているから、全日本ロードをもっと楽しむための特典が満載!!

RFC入会方法

●RFC年会費（入会金は不要です）

RFC一般会員/4,000円

RFC特別会員/30,000円（限定100名）

★1996年の特別会員の入会受付は、定数に達したため終了しました。ご了承願います。

●申込方法（二通りあります）

住所、氏名、「RFC入会希望」とお書きいただき、RFC事務局にお送り下さい。折り返し入会申込書を送付いたします。電話・FAXでも受け付けます。

全日本ロードレース選手権シリーズ全11戦にて設置されるRFCロードレースファンクラブのブースでも受付を行なっています。サーキットで入会したい人は、ブースにて入会手続きをして下さい。この場合、入会したその場でカードの発行を行ないますので、入会と同時に特典が受けられます。

●申込・お問い合わせ先

RFC事務局（アバンテック ジャパン,INC.内）

名古屋市西区則武新町4-4-19

SG名古屋駅ビル5F 〒451

☎.052-565-0501

FAX.052-565-0502

入会受付
イベント参加受付
グランドスタンド
付近のブースにて
実施中!!

RFC JAPAN
ROAD RACE
OFFICIAL F.C
Membership

●お問い合わせは...

RFC事務局

名古屋市西区則武新町4-4-19 〒451

☎.052-565-0501 FAX.052-565-0502

MFJ
MOTORCYCLE FEDERATION OF JAPAN

SUPERBIKE
JAPAN

 **NAGATANIEN**

SINCE **1952**



伝統的 フアーストフード



 味ひとすじ
永右園

COURSE GUIDE

観戦ガイド

ベストポイントで観戦に臨む!

1 シケインスタンド

低速コーナーが組み合わされているため、ブロックライン、タイムを出すライン、パッシングラインなど、様々な走行ラインがある。それゆえ、最終ラップのここで、最後の最後に緊張感あふれるドラマが展開されてきた。またシケイン入り口は、SPアウトコーナーを立ち上がり、110Rという高速コーナーリングをし、マシンを完全に起こせない状態でブレーキングしながら、このシケインへのアプローチとなる。ここも非常に繊細なブレーキングが要求されるポイントだ。

2 SPスタンド

レインボーコーナーを立ち上がると、下りながらのバックストレッチに入る。ここが、コース中最もスピードの出るポイントだ。しかもその先が、40Rで回りこんでいる馬の背コーナーへと続いている。下りながらのフルブレーキングとなるため、フロントタイヤのコントロールが非常に難しくなる。それだけに、ブレーキング競争によるパッシングポイントとなる。

3 グランドスタンド

ここからは、日本国内のサーキットでは珍しい10%という急な登り勾配を全力で駆け上がってくるマシンを見ることができる。登り勾配を一気に駆け上がり、スリップストリームから抜け出し、1コーナーへのアプローチで前のマシンを抜くというパッシングポイントでもある。今回もパッシングシーンが見れるか。

数々の国際ショナル格別のレースを開催する、スポーツランドSUGO。コースの全長3,737.5m、18のコーナーと2つのストレートで構成される。特徴としては、高低差が69.83mもあり、しかもその中にコーナーがレイアウトされているため、非常に繊細なマシンコントロールが要求されるダイナミックかつテクニカルなコースだ。

'96 SUGO RACE QUEEN



高館 由香 (23歳)
YUKA TAKADATE

- 身長: 167cm
- B82-W58-H85
- 趣味: スノーボード
- 住所: 岩手県



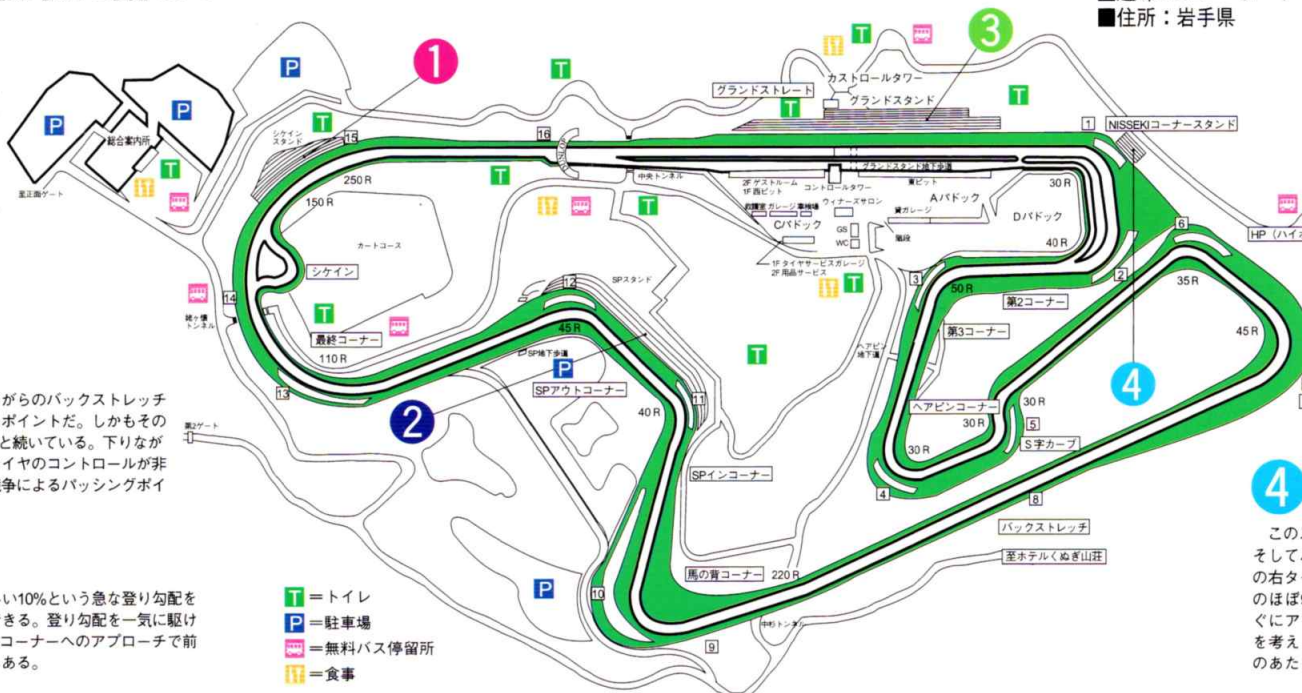
青砥 妥子 (23歳)
YASUKO AOTO

- 身長: 163cm
- B87-W58-H90
- 趣味: スキー
- 住所: 福島県



阿部 美貴 (22歳)
MIKI ABE

- 身長: 168cm
- B80-W58-H83
- 趣味: 陸上
- 住所: 宮城県



- T = トイレ
- P = 駐車場
- = 無料バス停留所
- = 食事

<http://www.sphere.ad.jp/zundanet/sugo/>
 ■アクセスしてプレゼントをもらおう!
 SUGOの全レースの他に、モーターファンには見逃せないプレゼント情報が満載。
 さあ、キミもさっそくアクセスしてみよう。

コース概要

形状 / 現状	全長 / 3,737.50m (3,704.256m / シケイン部を除く)
最大直線長 / 704.50m	最小曲線半径 / 20m
走行路幅員 / 10.0~12.5m	最大縦断勾配 / 10.0%
最大横断勾配 / 10.0%	最大標高差 / 69.83m

4 NISSEKIコーナースタンド

このスタンドは、1コーナーへのアプローチから2コーナー立ち上がり、そしてハイポイントコーナーまでを見ることが出来る。1コーナーは30Rの右ターンで、ほぼ直角に曲っている。さらに次の2コーナーがまた40Rのほぼ90度ターンなので、1コーナーを立ち上がったからといって、すぐにアクセルを全開にするわけにはいかない。2コーナーの走行ラインを考えながら、1コーナーのアプローチをしなければならないのだ。そのあたりの走りをぜひ、チェックしたい。

1996 SUGO RACE CALENDAR

開催日	大会名
RACING COURSE 2輪	
7/6(土) ~ 7(日)	'96全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦
7/21(日)	SUGOロードレース選手権シリーズ第4戦
8/11(日)	第13回SUGO耐久ロードレース大会
8/24(土) ~ 25(日)	'96SUGO SUPER BIKE世界選手権第10戦
9/8(日)	SUGOロードレース選手権シリーズ第6戦
9/29(日)	SUGOロードレース選手権シリーズ第7戦
10/20(日)	SUGOロードレース選手権シリーズ第8戦
11/2(土) ~ 3(日)	'96全日本ロードレース選手権シリーズ最終戦MFJグランプリ

開催日	大会名
RACING COURSE 4輪	
8/3(土) ~ 4(日)	フォーミュラニッポン第6戦 (F3000 & F3)
9/22(日)	'96SUGOビクトリーカップファイナル
10/5(土) ~ 6(日)	'96全日本GT選手権レース第6戦
11/9(土) ~ 10(日)	SUGOスーパーN1耐久シリーズ最終戦

開催日	大会名
KART COURSE	
7/28(日)	BoonCupカートサマーフェスティバル
8/14(水)	'96ふるさとまつりナイタージムカーナ
8/18(日)	SUGOカートレース第5戦
9/8(日)	SUGOカートレース第6戦
9/16(祝)	SUGOジムカーナシリーズ第3戦ADVAN CUP
9/29(日)	全日本カートレース選手権最終戦
10/13(日)	'96ジャパンカートグランプリ
10/27(日)	SUGOジムカーナシリーズ第4戦TRAMPIO CUP
11/10(日)	地方カート東北地区最終戦
11/23(祝)	SUGOジムカーナシリーズ第5戦POTENZA CUP
12/8(日)	'96SUGOウィンター耐久カートレース

開催日	大会名
MOTOCROSS COURSE	
7/28(日)	宮城県モトクロス選手権第3戦
8/18(日)	宮城県モトクロス選手権第4戦
9/1(日)	東北モトクロス選手権第6戦
9/14(土) ~ 15(日)	全日本モトクロス選手権第10戦
9/22(日)	POKKA ALL JAPAN SUPER OFF ROAD 第6戦
10/27(日)	全日本トライアル日本GP (トライアルコース)
12/8(日)	YESSチャレンジエンデューロレースグランプリ

'96 SUGO sound Festival

遊び心の
楽しい草レース&
フェスティバル

オートバイをこよなく愛するライダーにSUGOからビッグプレゼント!「SUGOサウンドフェスティバル'96」が更にパワーアップして、全てのバイクファンのために開催されます。ガレージに眠ったままのマシン、ピッカピカに磨き上げた自慢のマシン、買ったばかりのニューマシンなど125ccから1000ccオーバーまでオンオフ問わずエントリーOKです。昔ギンギンにレースをやっていた人、一度サーキットを走って見たかった人、そんな人たちの夢をかなえるイベントです。9/16は平忠彦選手もTRX850を駆り、特別参加します。また、フリーマーケット・サーキット走行会・バイク王読者大撮影会・タンデム走行会などの楽しいイベントも開催予定です。とっても楽しいSUGOの「草レース&フェスティバル」にみんなで集まって、1日楽しく過ごしましょう。

■開催日程

9月16日(祝) SUGOオータムサウンドフェスティバル'96
11月4日(祝) SUGOサウンドフェスティバルグランプリ'96

■主催

SUGOスポーツクラブ(SSC) TEL 0224-83-3127

■会場

スポーツランドSUGO
「インターナショナルレーシングコース」(3,737, 50m)

■開催クラス

125ccから1000ccオーバーまでオンオフ問わず参加できます。
開催クラスの詳細は下表をご覧ください。

■参加資格

MFJフレッシュマンライセンス以上所有者
女性ライダーの方の参加も大歓迎!

■参加料

- ①レース
1クラス18,000円(MFJ共済会費4,000円含む)
- ②サーキット走行会
2走行あり3,000円(保険料込み) + 入園料820円
- ③タンデム走行
1周1,000円(保険料込み) + 入園料820円×2名
- ④観戦&フリーマーケット&バ王大撮影会
入園料820円のみ

■お問合せ先

- SUGOスポーツクラブ(出場申込先)
TEL 0224(83)3427 FAX 0224(83)3697 担当:佐藤
〒989-13 宮城県柴田郡村田菅生6-1
- レーシングショップIta
TEL/FAX022(386)3705 担当:福田

■SUGOサウンドフェスティバル開催クラスと参加できるマシンモデル例

1. SINGLE

クラス	呼称	排気量	出場マシンモデル例
リトルシングル モディファイド	LS-M	250cc以下の リトルシングル	ヤマハ SRX250,TT250,XT250 ホンダ GB250,XR250,XK250,CBX125,XL125 スズキ Goose250,ホルティエー_DR250,GS125, カワサキ エストレア,CS250,KLX250 etc.
リトルシングル ノーマル	LS-N	251cc以上400cc以下	ヤマハ SRX400,XT400 ホンダ GB400,FT400,XL400 スズキ GOOSE350 etc.
ノーマルシングル 400cc	NS4	401cc以上660cc以下	ヤマハ SRX600,XTZ660,SRZ660 ホンダ GB500,XR650L スズキ DR600/650, カワサキ KLR600/650 etc.
ノーマルシングル 600cc	NS6	661cc以上1000cc以下	ヤマハ SR400,SR500,XT500 etc.
2バルブ モディファイド	S2VS	2バルブシングル(ノーマル含む)	ヤマハ SR400/500,SRX400/600,XTZ600/660, ホンダ GB400/500,FT400,XR650L スズキ Goose350, BIMOTA SUPERMONO etc.
スーパーシングル モディファイド	SS-M	345cc~1000cc以下の スーパーシングル	
スーパーシングル エキスパート	SS-EX		

2. TWIN

クラス	呼称	排気量	出場マシンモデル例
リトルツイン モディファイド	LT-M	550cc以下の ツイン	ヤマハ SRV250,XV400 ホンダ VT250,BROS-2,CB400N ドゥカティ 400SS,M400,F-3 スズキ GSX250,GS400T, カワサキ ZZ-R250,KRE400,GPZ250, BIMOTA DB-Jr etc.
リトルツイン エキスパート	LT-EX	501cc以下の 空冷ツイン	ヤマハ XS650,XV750, スズキ GR650, カワサキ W-1, ドゥカティ 750SS,F-1,900SS,M900 BMW R100,R1100, モトグッチ D100,1100S, ハーレー 883,1200, BIMOTA DB1/2, etc.
空冷スーパーツイン モディファイド	ACST-M	501cc以下の 水冷ツイン	ヤマハ TRX850,TDM850, ホンダ BROS1,アフリカンツイン650/750 ドゥカティ 748,PASO,851,888,916, BIMOTA TESI-1,851,906 etc.
空冷スーパーツイン エキスパート	ACST-E		
水冷スーパーツイン モディファイド	LCST-M		
水冷スーパーツイン エキスパート	LCST-EX		

*シングル、ツインの改造規定については、特別競技規則書を参照して下さい。

3. TT-FORMULA

クラス	呼称	排気量	出場マシンモデル例('87以前モデル)	現行モデル例
FORMULA-SUGO	フォーミュラ SUGO	3気筒以上、751cc以上の4ストローク で一般市販モデル。 ※製造年代は問わない。	ヤマハ XJR1200,FJ1200/1100,FZR1000,GTS1000,YZF1000, ホンダ CB1000SF,VF1000,CBR1000F/900R,VFR750R,VF750, スズキ GSF1200,GSX-R1100,GSX1100,RF900R, カワサキ GPZ900R/1000RX/1100,ZEPHER,Zシリーズ,ZZ-R1100,ZX-9R, etc.	
SUGO TT FORMULA1	SUGO TTF-1	4ストロークは3気筒以上 水冷、空冷401cc~750cc 2ストローク2気筒以上 水冷251cc~500ccの一般市販モデル。	ヤマハ FZ750,FZR750,XJ750,RZV500,RZ350,RD350, ホンダ CBR750,CBX750F,VFR750F,NS400 スズキ GSX750R/750E,RGT400/500 カワサキ GPZ750F/750R,600R,GPX750R, etc.	H-CB750 S-GSF750 etc.
SUGO TT FORMULA3	SUGO TTF-3	4ストロークは3・4気筒250cc~400cc 2ストロークは4気筒まで125cc~250cc の一般市販モデル。	ヤマハ FZ400,FZR400,XJ400/DZ-E/S,RZ250/R/RR, TZR250(86), ホンダ CBR400R/F,VFR400R/Z, CBX400,VF400F,NS250,MVX250,NSR250R(86), スズキ GSX400F/F2/FS,GS400FW,GSX400X/S,GSX-R400, RG-Γ, RG-B, カワサキ GPZ400F/R,GPX400R,FX400R, Zシリーズ,KR250/S etc.	Y-R1-Z,XJR/2,ディバージョン, H-CB400SF,CB-1, S-GSX400インパルス,バンディット, K-ZEPHER etc.

*F-1、F-3クラスの車両については、基本的に'87以前に改造された車両とする。

*F-3クラスの2サイクルモデルは、'86年までのモデルとする。ただし、マイナーチェンジ後のエンジン形式が変わらないモデルは認めることとする。

*TTフォーミュラクラスの車両改造範囲は無制限とするが、特別競技規則書29~33頁の総合使用に合致していること。ボアアップも可。(ボアアップ後は、その排気量のクラスへ移行しなければならない。)メインフレームに変更は不可。(補強は可)

*TTF1、F3クラスの現行モデル車両は、エンジン内部に改造を加えることは一切できない。(エンジンはノーマル)

*TTフォーミュラクラスはスリックタイヤの使用を認めることとする。

*ゼッケンについては、フォーミュラSUGO→赤地に黄文字、TTF-1→赤地に白文字、TTF-3→濃紺地に白文字とする。

4. NORMAL

クラス	呼称	排気量	出場マシンモデル例
ノーマル250	N250	249cc以下の2ストローク一般市販モデル。	ヤマハ TZRシリーズ ホンダ NSRシリーズ スズキ RGVΓシリーズ カワサキ KRシリーズ etc
ノーマル400	N400	339cc以下の2ストローク一般市販モデル。	ヤマハ FZRシリーズ ホンダ CBR、VFRシリーズ スズキ GSX-Rシリーズ カワサキ ZXRシリーズ etc

*ノーマルクラスは基本的にフルノーマルとし、保安部品の取り外し、カウル、スプロケット(F・R)、チェーンなど、消耗品のみ交換を認める。(リミッター解除も不可)なお、特別競技規則書29~33頁の総合仕様と合致していること。(各部のワイヤーロック、キャッチタンクなどを取り付けること。)

*ゼッケンについては、N250→緑地に白文字、N400→緑地に黒文字とする。

*上記掲載以外にも参加できるマシンもありますので、お問合わせ下さい。

*改造規定に関して不明な点につきましても、お問合わせ下さい。

**バ王読者
大撮影大会
in SUGO**

- 9:00~16:00 バ王読者大撮影会
- 12:00~12:30 ファミリー走行
- 16:00~16:20 ファミリー走行

※上記ファミリー走行時間帯は暫定です。
3,000円で2走行できます。(保険料込、入園料820円は別)



Agip

motor oils



いつも
アジップがいる



SHOWA BOEKI CO., LTD.

18-27, EDOBORI 1-CHOME, NISHI-KU, OSAKA, 550 JAPAN
PHONE:(06)441-8121 FAX:(06)444-6060



レッド・ブレイジングレド

HORNET

スポーツが、熱く、触れてくる。

ざらざらとしたアスファルトの感触が、
タイヤからHORNETのボディを通して、体のなかに流れこむ。
体はスポーツに肌えていた。ホットなビートに渴いていた。
いいじゃないか、HORNET。

ブーンシルバーメタリック



ブラック

INLINE-4 NEW WAVE HORNET DEBUT!

主要諸元 ■型式MC31 ■水冷4サイクルDOHC4バルブ4気筒・249cm³ ■最高出力40PS/13,000rpm ■最大トルク2.4kgm/11,000rpm ■乾燥重量149kg ●¥499,000

※価格はメーカー希望小売価格(北海道、沖縄および一部地域を除く)です。※価格には保険料・税金(消費税を含む)・登録などに伴う諸費用は含まれておりません。※価格は参考価格ですので、詳しくは販売店にお尋ねください。※速度警告灯装着車もタイプ設定してあります。(10,000円高)

バイクが好きだから、
セーフティライド。

全日本ロードレース選手権
SUPERBIKE JAPAN 招待券プレゼント実施中
'96年1月~12月にモーターサイクル
/スクーターをお買上げの方全員に

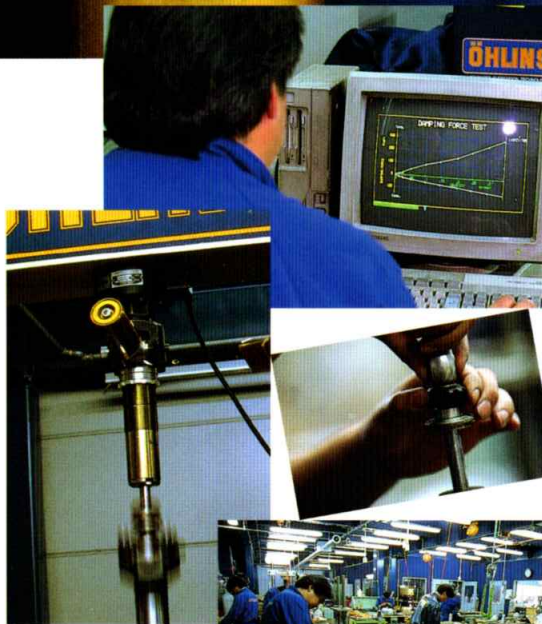
見る・見られる・いい運転。 **バイクでひろがるいい仲間**
●バイクは昼間もライト・オン!
●カーブ・交差点では、スローイングダウン!
バイクは、いつも 光ってる



アフターサービスの

信頼性の

オーリンズのショックを装着しただけであなたのバイクから得られる味わいは大きく変わるはず。ショックが占める役割は限りなく大きくなりつつあります。いまやユーザーの求める理想のショック像はオーリンズが求めてきたイメージに近づいているのです。オーリンズのショックがレースはもちろん、一般ストリートユースにいたる幅広い支持を得ている理由は、まず基本設計による基本性能の確かなことと、万全な態勢のアフターサービスシステムではないでしょうか。ある意味でショックもセッティングパーツ。バイクは同じでもユーザーの求めるものは様々です。そのための綿密なセッティング及び装着後に生じるであろう様々な変化(ユーザーの要求とのいちがい等)をいち早く補整、修復する必要性を常日頃感じています。高性能なショックになるほどこうした対応は欠かせません。常にベストな状態を保つためにユーザーの方々の手に負えなくなった領域をカバーする。オーリンズはそのために専門のスタッフを配しております。もちろん、最新の計測設備も充実させて皆様の心地良いバイクライフをサポートさせていただいております。質問、お問い合わせ等お気軽にどうぞ。



リンズショックがより快適なバイクライフをもたらしてくれることを願っています。

● ÖHLINS DOCUMENTS
 ○ オーリンズサービススタッフの一日の輪部門を担当するのは伊藤明雄メカニック、27歳、レーシングメカニックのキャリアを買われてオーリンズへ。もう4年になる。ユーザーから送られてきたショックのオーバーホールを担当している。仕事はショックの製造過程と同様、精度と的確な判断が求められる。作業はほとんど手作業。だから一日フルに働いても数セットしかできない。全日本ロードレースでもサービスタとして働く伊藤メカのアらゆるタイプのショックを扱ってきた。手が今日もテキパキと、そして一本一本のショックへ愛情を込めて仕上げている。オーバーホールを済ませたオーリンズショックがより快適なバイクライフをもたらしてくれることを願っています。

フルアジャスタブル・ツインショック ¥118,000

●ガス室とオイルを隔離するフリーピストンにより、キャビテーション(泡立ち)、エアレーション(空気吹込み)を防ぐと共に高い冷却性能を誇る。●圧側減衰力調整機構<4段階> ●伸側減衰力調整機構<20段階> ●全長無段階調節機構<+10mm> ●油圧スプリングプリロードアジャスター<10mm行程>

適応車種：ゼファー1100/ZI、ゼファー400/Z400、ZR400、CB1000SF(BIG1)、CB900/1100F、CB400SF、XJR1200、V-MAX、XJR400、GSX1100Sカタナ、GSX400インパルス

作業工賃価格
 ●オーバーホール/仕様変更
 リアショック ¥24,000
 スプリング交換 ¥2,000
 0/H時無料
 備考：スプリング代は別途
 ※ツインショックのそれぞれの工賃は、1台分(2本)の料金です。



オーリンズのお求めは、この看板のオーリンズプロショップで。

●表示の価格は消費税および取り付け工賃を含みません。1台分セットです。●価格および仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。●カタログをご希望の方は二覧になった誌名・号数・ご希望の車種を明記し、500円切手を同封してラボ・カロッツェリアまでお申込みください。●オーリンズ発売元・株式会社カロッツェリア・ジャパン

商品に関するお問い合わせ、ご注文はお客様フリーダイヤル
0120-81-1113

オーリンズに関するお問い合わせは、
LABO CARROZZERIA
 〒336 埼玉県浦和市 8-23-13
 TEL 048-863-1801 FAX 048-863-1802



ダリツプ。ダリツプ。ダリツプ。



全国のサーキットの、さまざまなコーナーでそのグリップ力をいかに発揮している
BT-90 RADIAL。
そのグリップ性能の高さも、そのグリップ持続性も、
すべては「V」のために。

**RACE TYPE
BT-90 RADIAL**

Front

Rear



BATTLAX
from BRIDGESTONE MOTORSPORT

未成年者の喫煙は禁じられています
あなたの健康を損なうおそれがありますので
吸いすぎに注意しましょう



AN AMERICAN ORIGINAL.

LUCKY STRIKE

BOX NUMBER

スーパーマイルド



タール11mg / ニコチン0.8mg

タール6mg / ニコチン0.5mg

ラッキーストライク 総計21,300名様に当たります。 スモーカーズ・コレクション・プレゼント

■期間：1996年4月15日(月)～7月15日(月) ■賞品：特賞／限定スターリングシルバー・ジッポー「シリアルナンバー入り」／No.001～300(300名様)、A賞／ブラック・レザー・ジッポー(9,000名様)、B賞／レザーホルダー付・ポータブル・アッシュトレイ(12,000名様)をプレゼント ■対象銘柄：日本国内で販売されているラッキーストライク全銘柄 ■応募方法：ラッキーストライク全銘柄の指定部分を切り取って、応募ハガキまたは、官製ハガキに6枚貼り、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、職業、電話番号と現在お吸いのタバコ銘柄(抽選には一切影響ありません)、をご記入の上ご応募下さい ■宛先：〒119-65 東京中央郵便局留「ラッキーストライク

・スモーカーズ・コレクション・プレゼント」M係(賞品の指定は出来ませんのでご了承ください)※ハガキ1枚を1口とし、お一人様何口でもご応募できます ■応募資格：満20歳以上でタバコをお吸いの方に限らせていただきます ■応募締め切り：1996年7月15日(月)必着 ■抽選発表：発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます 賞品の発送は8月中旬になります(賞品は実際と異なる場合がありますのでご了承ください) ■問い合わせ先：ラッキーストライク・スモーカーズ・コレクション・プレゼント事務局

TEL 03-3811-1108

下図のように、パッケージの指定部分を切り取って、応募ハガキ、または、官製ハガキにお貼りください。



50円切手

郵便はがき
3119(6)



BOX TOP

あなたが現在お吸いのタバコ銘柄をお書きください。
●郵送番号 ●住所
●氏名(ふりがな)
●年齢 ●性別 ●職業
●電話番号

1	2
3	4
5	6



特賞

限定スターリング
シルバー・ジッポー
シリアルナンバー入り



A賞

ブラック
レザー・ジッポー

B賞

レザーホルダー付
ポータブル・アッシュ
トレイ